川之江地区
まちづくりアンケート調査
集計結果

1．アンケート概要版 ---------- 1

2．実施概要 ---------- 5

3．集計結果 ---------- 5

（1）回答者の属性 ---------- 5

（2）川之江地区の現状について ---------- 7

（3）川之江地区のまちづくりについて ---------- 11

（4）川之江地区の公共施設について ---------- 17

（5）自由意見 ---------- 25

4．アンケート調査票 ---------- 30

平成 25 年 3 月

四国中央市　建設部　都市計画課

1. アンケート概要版

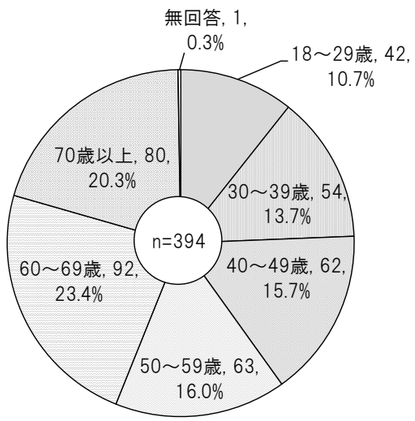
■調査概要

① 対象者　川之江地区の 18 歳以上の居住者から無作為抽出
② 配布日　平成 25 年 1 月 5 日
③ 〆切日　平成 25 年 1 月 16 日
④ 配布数　995 通(宛先不明で 5 通返却)
⑤ 回収数　394 通
⑥ 回収率　39.6%

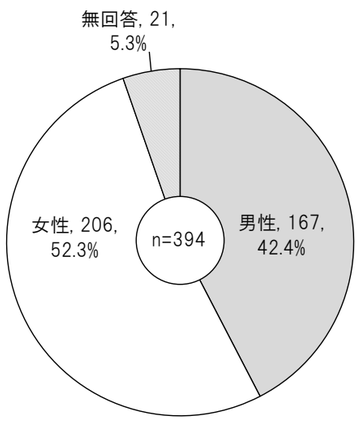
■**地区の現況と将来像**に関する結果総括

❖ 川之江地区は概ね住みよい地区であり、住み続けたい意向が強い。
❖ 地場産業や自然、住環境への魅力が高い一方で、にぎわい不足や都市基盤の課題が挙げられている。そのため、公共交通や道路・歩道、公園・緑地に関する評価はかなり低い。
❖ 川之江地区のまちづくりの評価は、ふつう(満足でも不満でもない)と感じている意向が多いが、ふつうを除いて満足度を算出すると、満足より不満が多い。
❖ 求める将来のまちの姿をまとめると、川之江地区は「子どもからお年寄りまで安心して暮らし続けられる生活環境が整ったまち」であり、重点的に取り組むこととして、「医療・福祉機能、都市基盤の充実、商業活性化」への意向が強い。

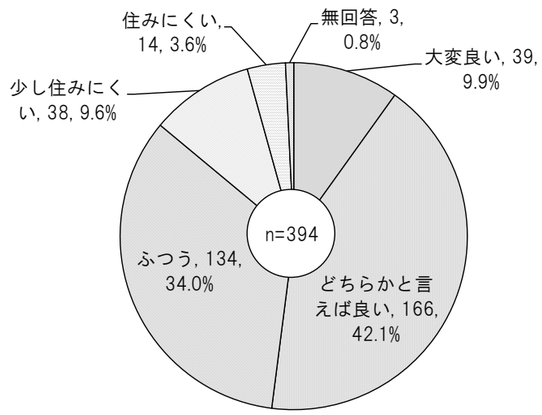
問 1：回答者の年齢



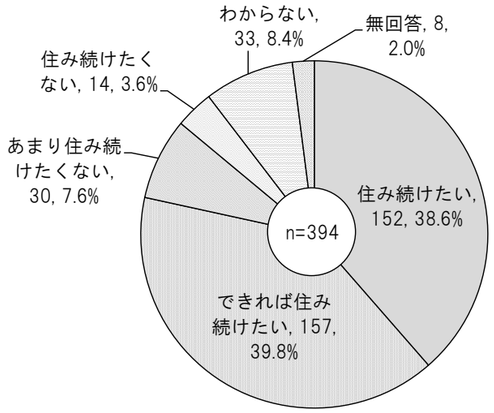
問 2：回答者の性別



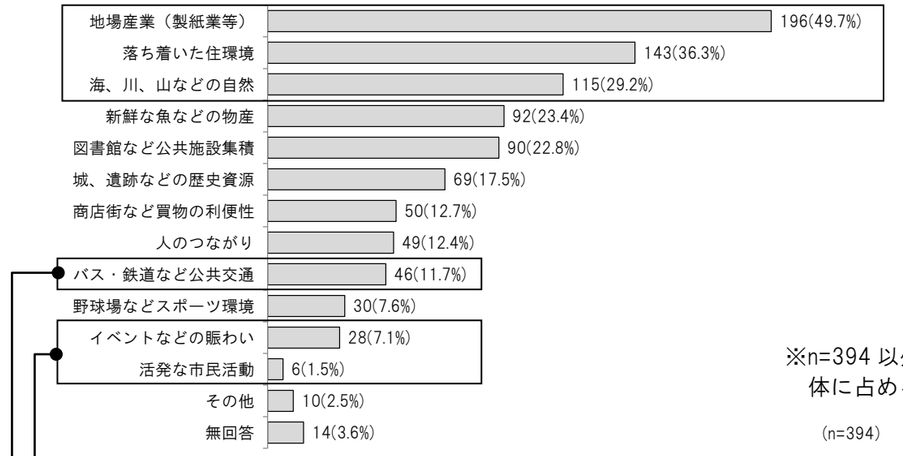
問 4：過半数は**「住みよい」**と感じている。



問 5：8 割近くの回答者は**「住み続けたい」**と思っている。



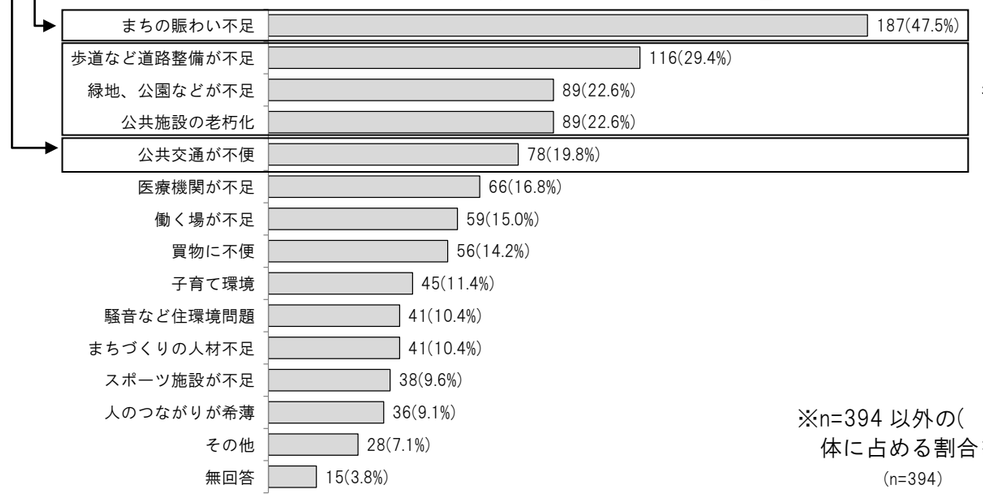
問 6：川之江地区の魅力、資源は**「地場産業・落ち着いた住環境・自然」**が上位、しかし、**「公共交通やにぎわい」**の魅力が低い



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

(n=394)

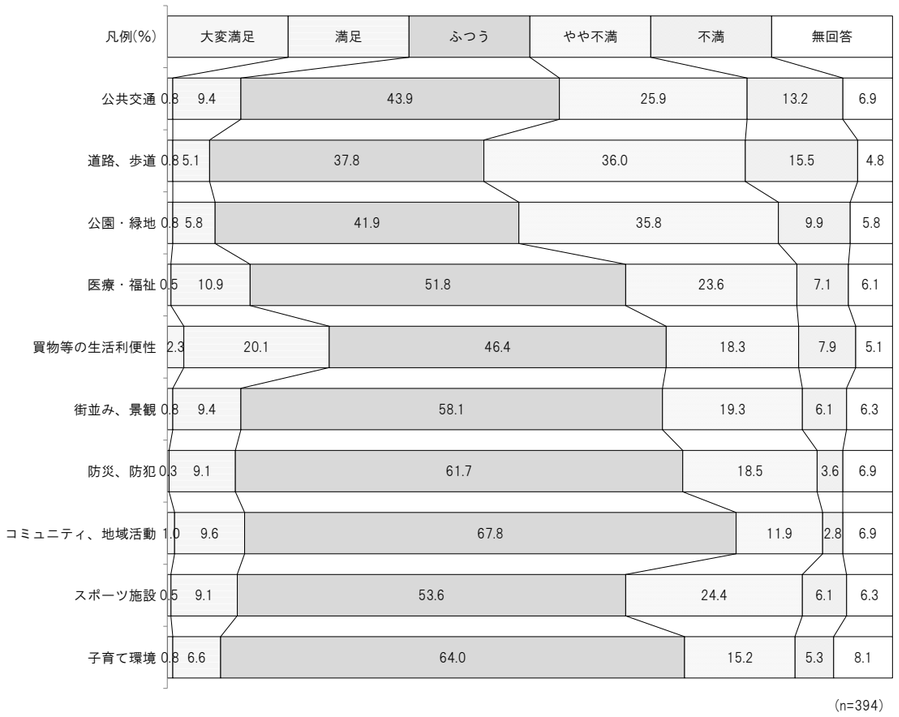
問 7：川之江地区の問題点は**「にぎわい不足や都市基盤の課題」**が上位。

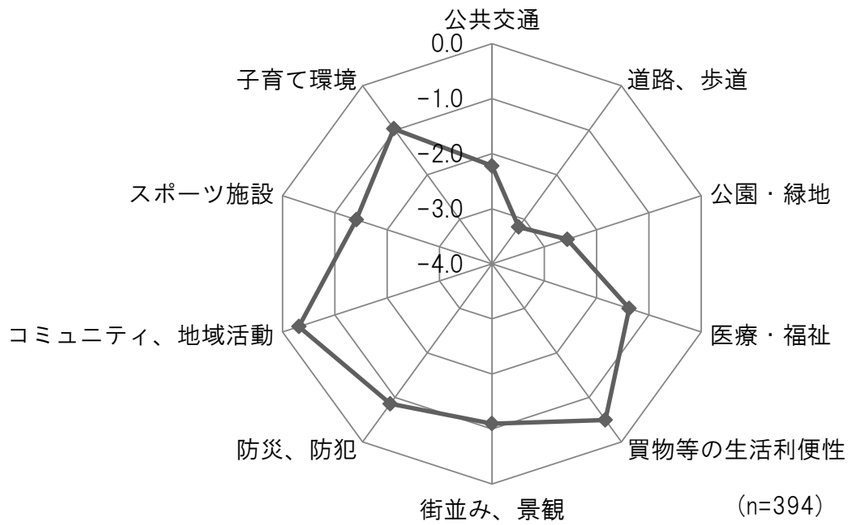


※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

(n=394)

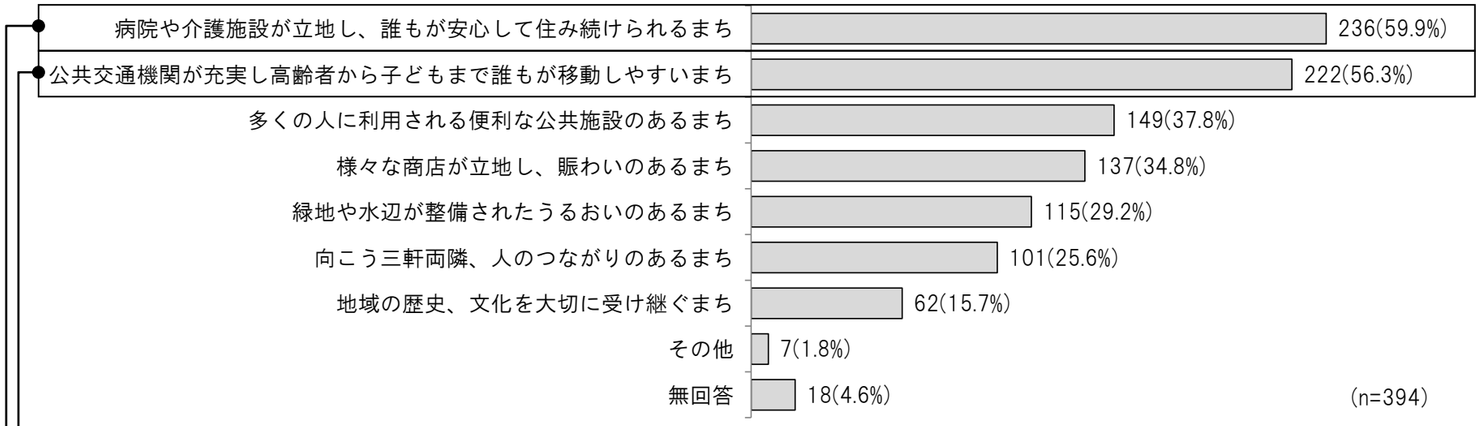
問 8：全体的に評価は**「ふつう」**、ふつうをのぞけば、評価は**「低い」**。特に**「公共交通、道路・歩道、公園・緑地」**。





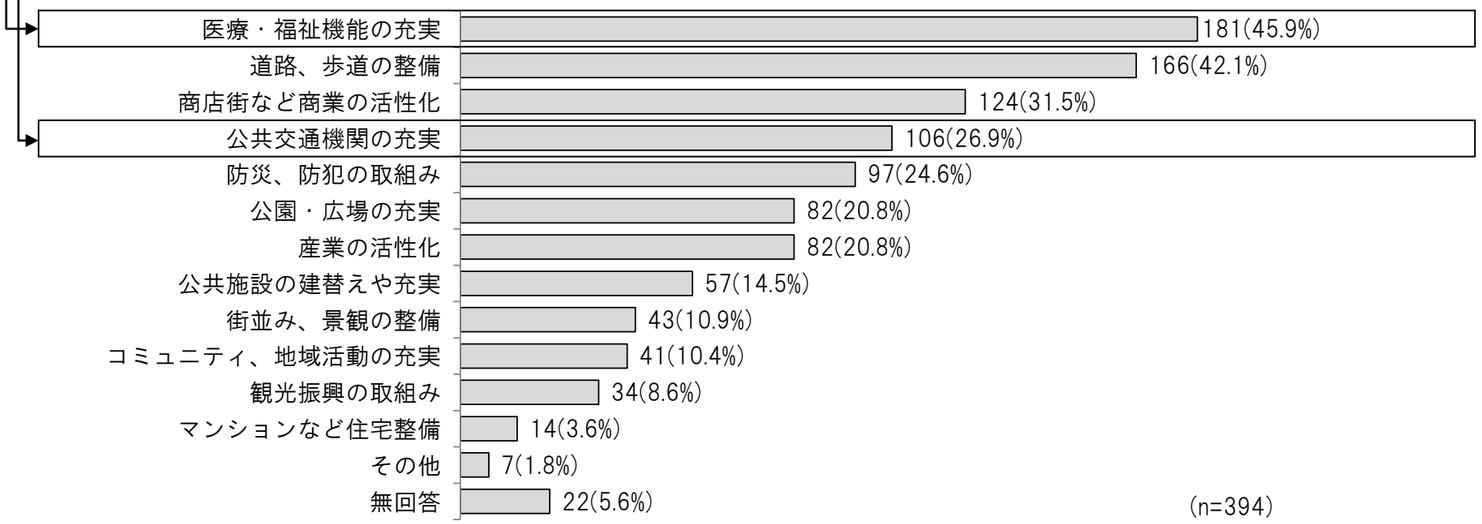
※回答数を点数化し、満足度を算出した。0 に近づくほど満足度が高い。

問 9：川之江地区は、**「子どもからお年寄りまで安心して暮らし続けられる生活環境が整ったまち」**になって欲しいと感じている。



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

問 10：川之江地区には、**「医療・福祉機能、都市基盤の充実、商業活性化」**への意見が多い。

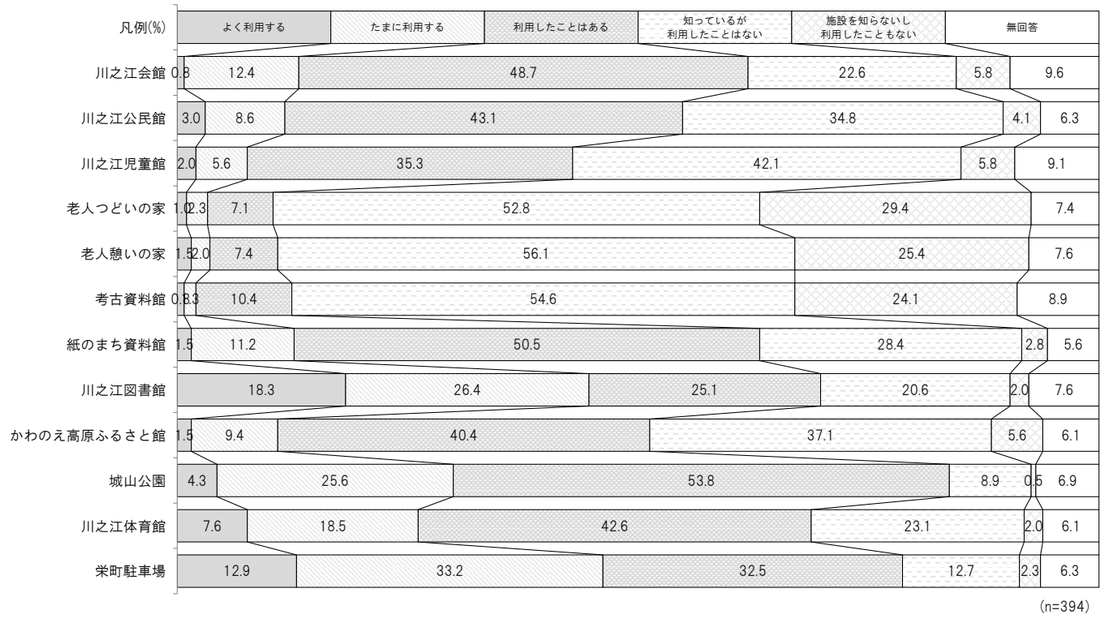


※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

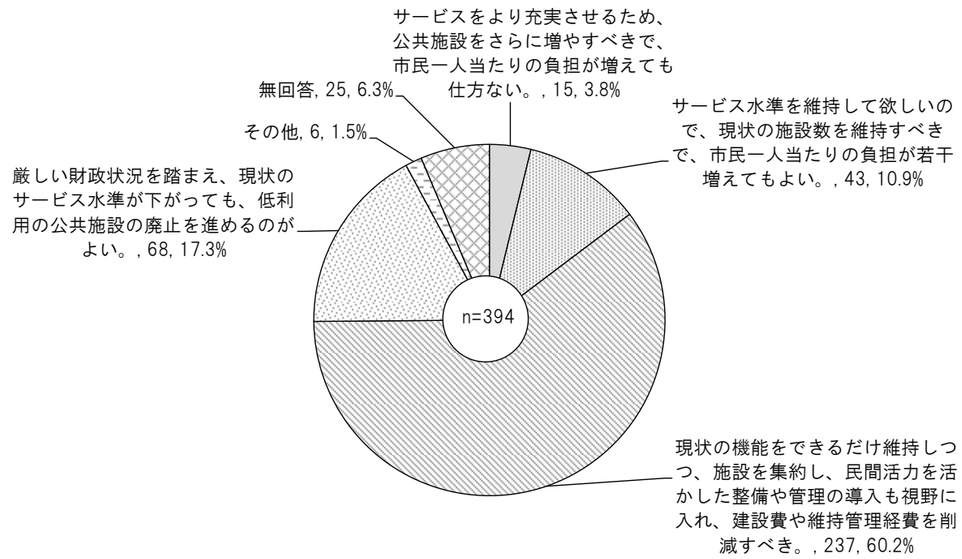
■**公共施設**に関する結果総括

- ❖ 積極的に利用されている公共施設は少ない。
- ❖ 公共施設に必要な機能として、広場やフリースペース、飲食機能が求められている。
- ❖ 公共施設は、「現状の機能をできるだけ維持しつつ、施設を集約し、民間活力を活かした整備や管理の導入も視野に入れ、建設費や維持管理経費を削減すべき」という意向が強い。
- ❖ 川之江会館跡地の活用について、「公園・広場、娯楽機能、老朽公共施設を集約してあらたな公共施設建設」とする意向が強い。

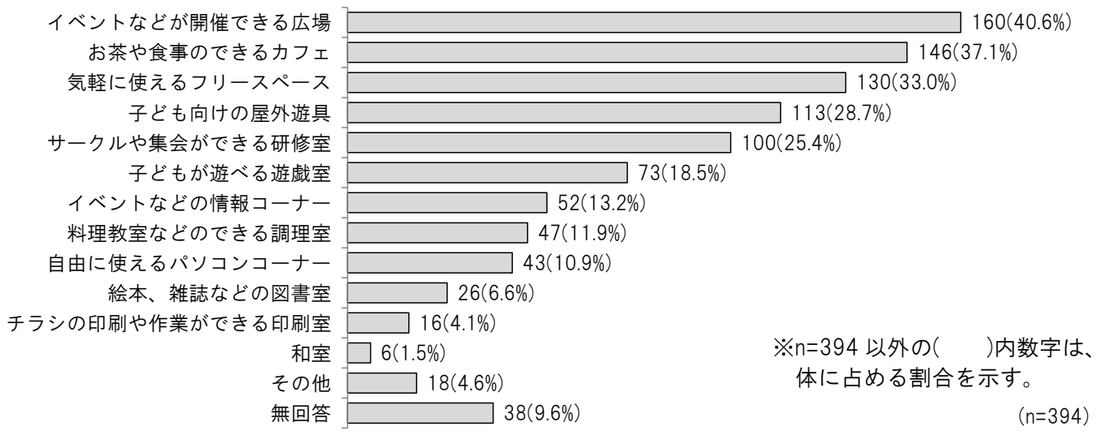
問 11：公共施設は「利用したことはある」程度であり、**積極的に利用されている施設は少ない。**



問 13：今後の公共施設整備において、**「現状の機能をできるだけ維持しつつ、施設を集約し、民間活力を活かした整備や管理の導入も視野に入れ、建設費や維持管理経費を削減すべき。」**の回答が多い。



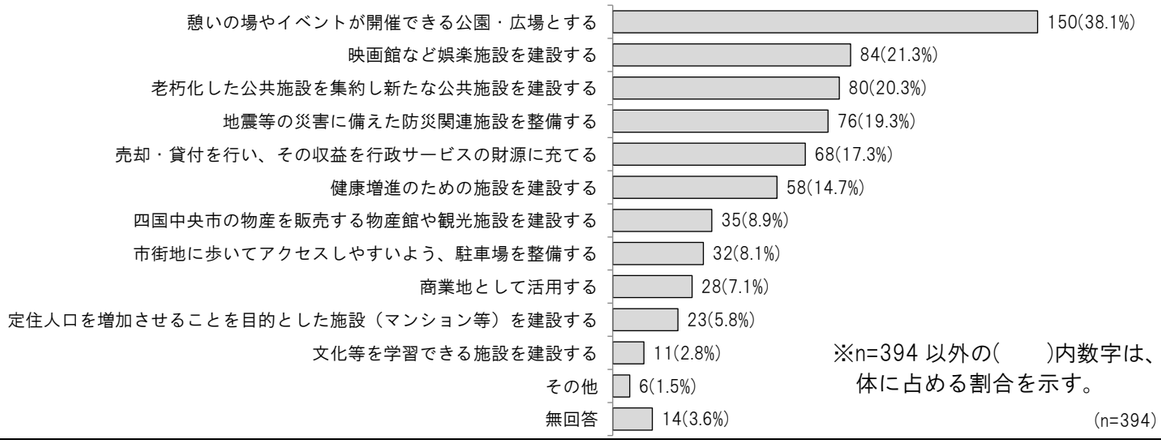
問 12：公共施設に必要だと思う機能は、**「広場やフリースペース、飲食機能」**が多い。



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

(n=394)

問 14：川之江会館跡地の活用について、**「公園・広場、娯楽機能、老朽公共施設を集約して新たな公共施設建設」**とする回答が多い。



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

(n=394)

2. 実施概要

① 対象者　18 歳以上の川之江地区の居住者から無作為抽出
② 配布日　平成 25 年 1 月 5 日
③ 〆切日　平成 25 年 1 月 16 日
④ 配布数　995 通(1,000 通発送中、宛先不明で 5 通返却)
⑤ 回収数　394 通
⑥ 回収率　39.6%

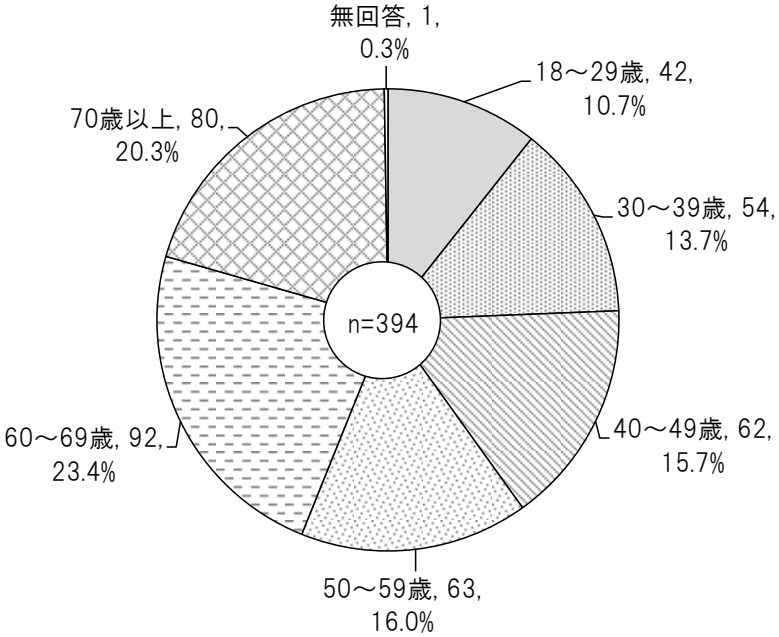
3. 集計結果

※割合については小数点第 2 位で四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。

(1) 回答者の属性

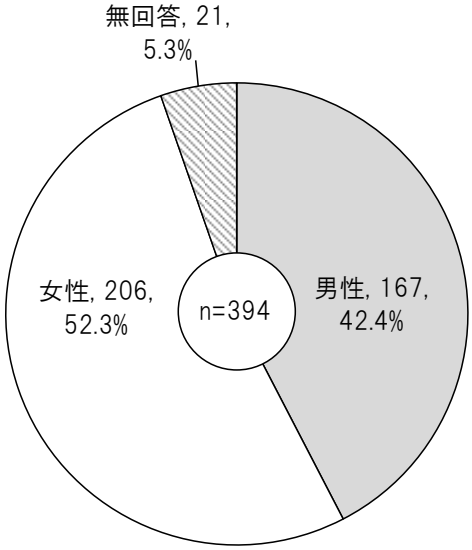
問1 あなたの年齢はおいくつですか。（あてはまるもの１つに○）

	件　数	%
全　体	394	100
18～29 歳	42	10.7
30～39 歳	54	13.7
40～49 歳	62	15.7
50～59 歳	63	16.0
60～69 歳	92	23.4
70 歳以上	80	20.3
無回答	1	0.3



問2 あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの１つに○）

	件　数	%
全　体	394	100
男性	167	42.4
女性	206	52.3
無回答	21	5.3



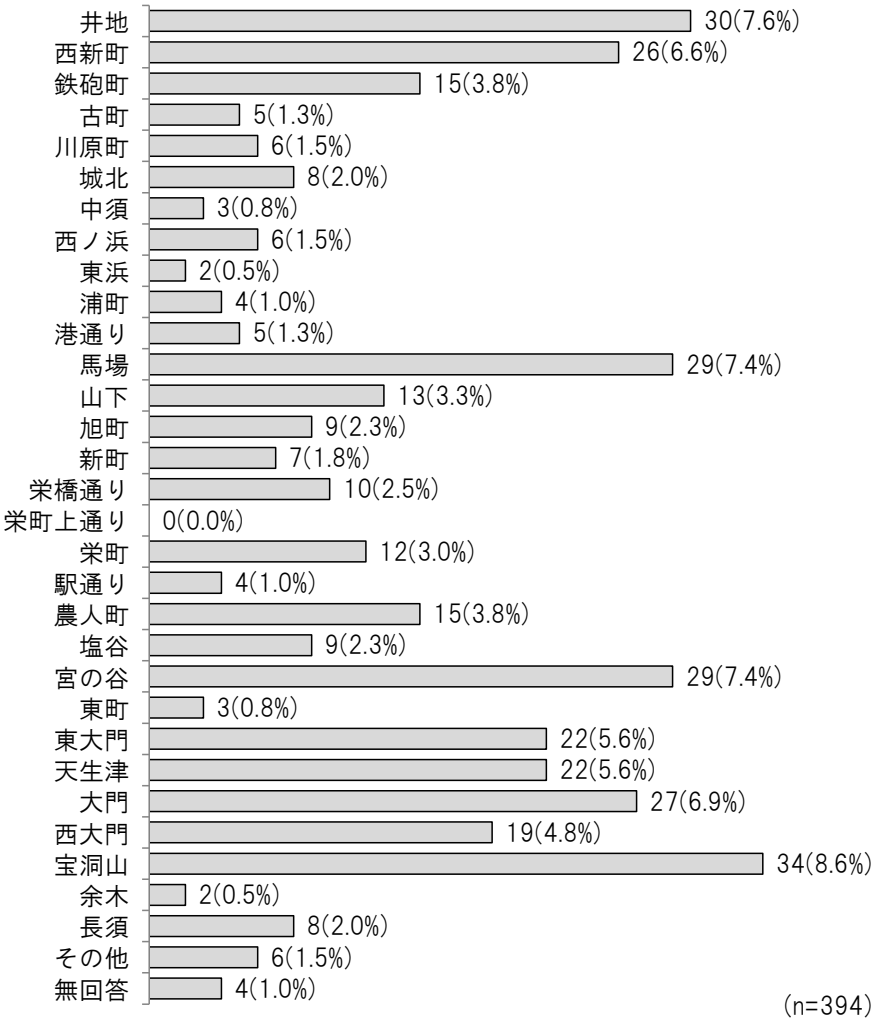
問3 あなたのお住まいの地区を教えてください。（あてはまるもの１つに○）

	全　体	井地	西新町	鉄砲町	古町	川原町	城北	中須
件　数	394	30	26	15	5	6	8	3
%	100	7.6	6.6	3.8	1.3	1.5	2.0	0.8

西ノ浜	東浜	浦町	港通り	馬場	山下	旭町	新町	栄橋通り
6	2	4	5	29	13	9	7	10
1.5	0.5	1.0	1.3	7.4	3.3	2.3	1.8	2.5

栄町上通り	栄町	駅通り	農人町	塩谷	宮の谷	東町	東大門	天生津
0	12	4	15	9	29	3	22	22
0.0	3.0	1.0	3.8	2.3	7.4	0.8	5.6	5.6

大門	西大門	宝洞山	余木	長須	その他	無回答		
27	19	34	2	8	6	4		
6.9	4.8	8.6	0.5	2.0	1.5	1.0		



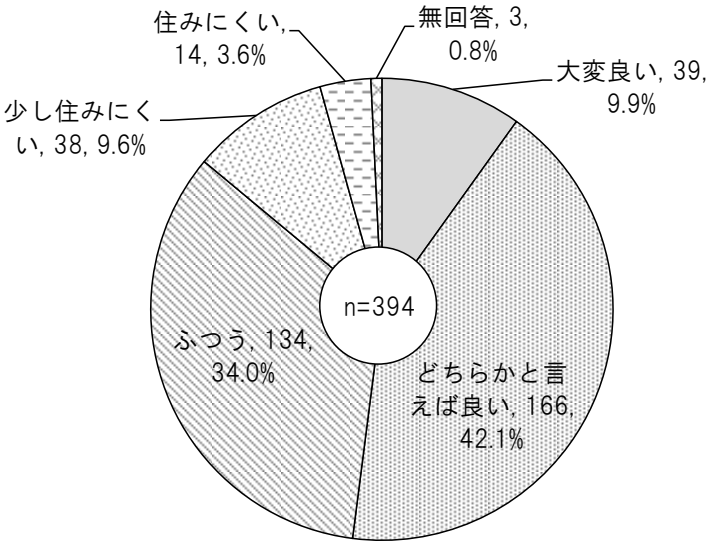
※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

(2) 川之江地区の現状について

問4 川之江地区の住みよさはいかがですか。（あてはまるもの１つに○）

回答者の 13.2%は「住みにくい(住みにくい ＋ 少し住みにくい)」と感じているが、52.0%は「住みよさが良い(大変良い ＋ どちらかと言えば良い)」と回答していることから、「ふつう」を含め、総じて、川之江地区は住みよい地区であるといえる。

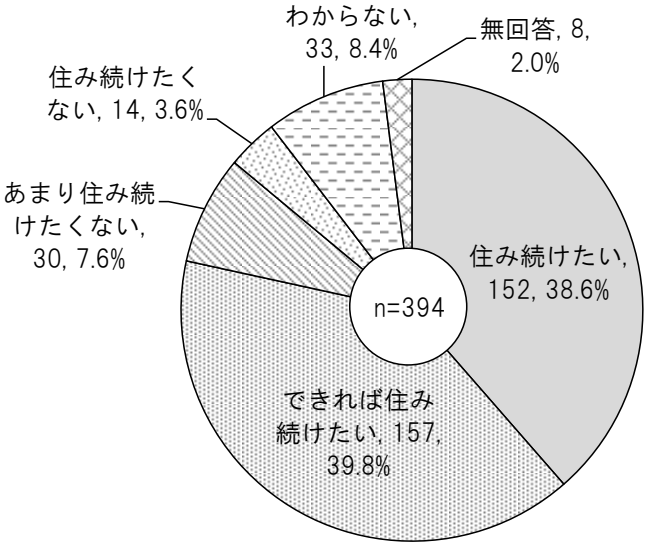
	件　数	%
全　体	394	100
大変良い	39	9.9
どちらかと言えば良い	166	42.1
ふつう	134	34.0
少し住みにくい	38	9.6
住みにくい	14	3.6
無回答	3	0.8



問5 川之江地区に住み続けたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

「川之江地区に住み続けたい(住み続けたい ＋ できれば住み続けたい)」と考えている回答者は 78.4%である一方で、11.2%は「住み続けたくない(住み続けたくない ＋ あまり住み続けたくない)」となっていることから、総じて、川之江地区は住み続けたいまちであるといえる。

	件　数	%
全　体	394	100
住み続けたい	152	38.6
できれば住み続けたい	157	39.8
あまり住み続けたくない	30	7.6
住み続けたくない	14	3.6
わからない	33	8.4
無回答	8	2.0

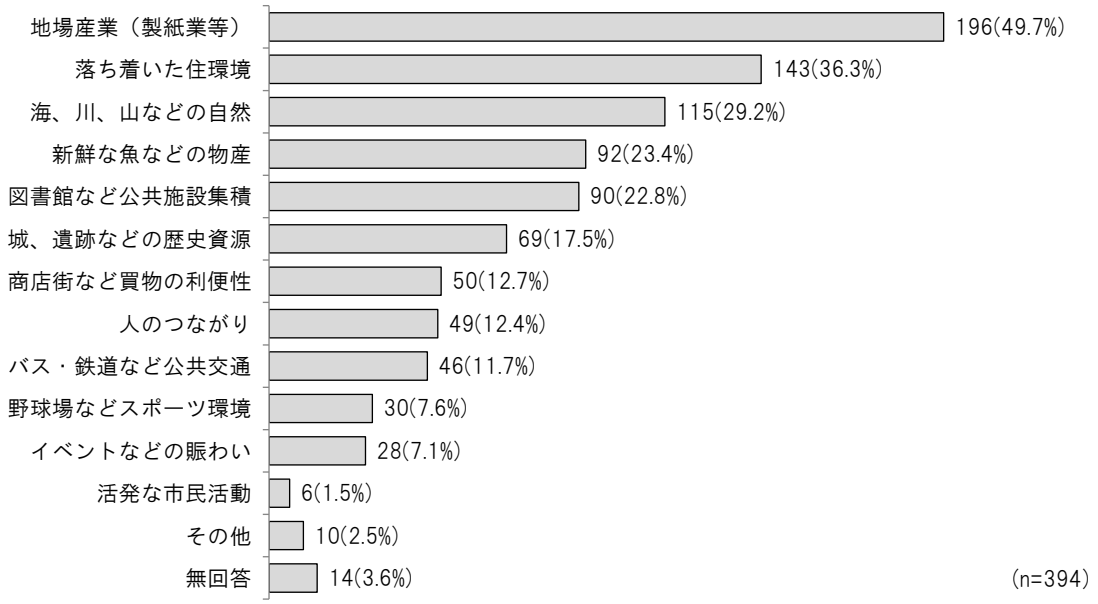


問6 川之江地区の魅力、地域資源はなんだと思いますか。（最もあてはまるもの３つまで○）

「地場産業(製紙業等)：49.7%」が最も多く、産業のまちとしての特色が伺える。次いで「落ち着いた住環境：36.3%」、「海、川、山などの自然：29.2%」となっており、年代に関わらず、概ね同様の傾向となっている(次ページのクロス集計参照)。

しかし一方で、「活発な市民活動：1.5%」や「イベントなどの賑わい：7.1%」、「野球場などスポーツ環境：7.6%」への魅力が高いと感じている回答者は少ない。

	件　数	%
全　体	394	100
地場産業（製紙業等）	196	49.7
落ち着いた住環境	143	36.3
海、川、山などの自然	115	29.2
新鮮な魚などの物産	92	23.4
図書館など公共施設集積	90	22.8
城、遺跡などの歴史資源	69	17.5
商店街など買物の利便性	50	12.7
人のつながり	49	12.4
バス・鉄道など公共交通	46	11.7
野球場などスポーツ環境	30	7.6
イベントなどの賑わい	28	7.1
活発な市民活動	6	1.5
その他	10	2.5
無回答	14	3.6



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

	合計	バス・鉄道など公共交通	商店街など買物の利便性	イベントなどの賑わい	野球場などスポーツ環境	図書館など公共施設集積	城、遺跡などの歴史資源	海、川、山などの自然	新鮮な魚などの物産	地場産業（製紙業等）	落ち着いた住環境	活発な市民活動	人のつながり	その他	無回答
全体	394	46	50	28	30	90	69	115	92	196	143	6	49	10	14
	100.0 %	11.7 %	12.7 %	7.1 %	7.6 %	22.8 %	17.5 %	29.2 %	23.4 %	49.7 %	36.3 %	1.5 %	12.4 %	2.5 %	3.6 %
１８～２９歳	42	1	2	5	4	11	8	11	5	22	17	1	5	1	0
	100.0 %	2.4 %	4.8 %	11.9 %	9.5 %	26.2 %	19.0 %	26.2 %	11.9 %	52.4 %	40.5 %	2.4 %	11.9 %	2.4 %	0.0 %
３０～３９歳	54	7	5	5	6	19	11	15	10	26	19	1	6	2	1
	100.0 %	13.0 %	9.3 %	9.3 %	11.1 %	35.2 %	20.4 %	27.8 %	18.5 %	48.1 %	35.2 %	1.9 %	11.1 %	3.7 %	1.9 %
４０～４９歳	62	2	5	6	5	14	9	17	17	27	26	0	11	2	2
	100.0 %	3.2 %	8.1 %	9.7 %	8.1 %	22.6 %	14.5 %	27.4 %	27.4 %	43.5 %	41.9 %	0.0 %	17.7 %	3.2 %	3.2 %
５０～５９歳	63	6	9	3	1	11	12	15	17	38	20	0	3	0	5
	100.0 %	9.5 %	14.3 %	4.8 %	1.6 %	17.5 %	19.0 %	23.8 %	27.0 %	60.3 %	31.7 %	0.0 %	4.8 %	0.0 %	7.9 %
６０～６９歳	92	12	12	6	9	23	13	30	27	45	34	4	11	1	1
	100.0 %	13.0 %	13.0 %	6.5 %	9.8 %	25.0 %	14.1 %	32.6 %	29.3 %	48.9 %	37.0 %	4.3 %	12.0 %	1.1 %	1.1 %
７０歳以上	80	18	17	3	5	12	16	27	16	38	27	0	13	4	4
	100.0 %	22.5 %	21.3 %	3.8 %	6.3 %	15.0 %	20.0 %	33.8 %	20.0 %	47.5 %	33.8 %	0.0 %	16.3 %	5.0 %	5.0 %
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

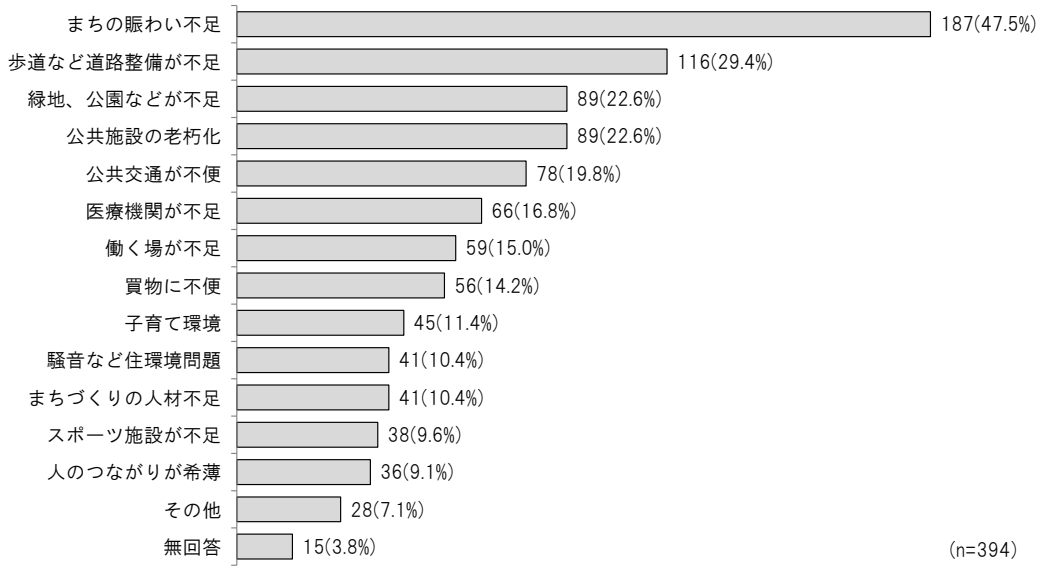
1位　2位　3位

問7 川之江地区の問題点はなんだと思いますか。（最もあてはまるもの３つまで○）

問 6 でも伺えるように、「まちの賑わい不足：47.5%」が問題点であると考えている回答者が最も多い。次いで、「歩道など道路整備が不足：29.4%」、「緑地、公園などが不足：22.6%」、「公共施設の老朽化：22.6%」となっている。上位 2 位は年代にかかわらず同様の傾向となっているが、「緑地、公園などが不足」については 30～59 歳の年代が多く、「公共施設の老朽化」については 60 歳以上に回答が多い(次ページのクロス集計参照)。

一方で、「人のつながりが希薄：9.1%」や「スポーツ施設が不足：9.6%」、「まちづくりの人材不足：10.4%」については、上位 3 に比べて比較的問題が少ないと感じている。

	件　数	%
全　体	394	100
まちの賑わい不足	187	47.5
歩道など道路整備が不足	116	29.4
緑地、公園などが不足	89	22.6
公共施設の老朽化	89	22.6
公共交通が不便	78	19.8
医療機関が不足	66	16.8
働く場が不足	59	15.0
買物に不便	56	14.2
子育て環境	45	11.4
騒音など住環境問題	41	10.4
まちづくりの人材不足	41	10.4
スポーツ施設が不足	38	9.6
人のつながりが希薄	36	9.1
その他	28	7.1
無回答	15	3.8



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

	合計	まちの賑わい不足	働く場が不足	買物に不便	医療機関が不足	子育て環境	公共交通が不便	緑地、公園などが不足	騒音など住環境問題	歩道など道路整備が不足	公共施設の老朽化	まちづくりの人材不足	人のつながりが希薄	スポーツ施設が不足	その他	無回答
全体	394	187	59	56	66	45	78	89	41	116	89	41	36	38	28	15
	100.0 %	47.5 %	15.0 %	14.2 %	16.8 %	11.4 %	19.8 %	22.6 %	10.4 %	29.4 %	22.6 %	10.4 %	9.1 %	9.6 %	7.1 %	3.8 %
１８～２９歳	42	19	8	8	5	6	13	7	4	5	6	4	3	5	3	3
	100.0 %	45.2 %	19.0 %	19.0 %	11.9 %	14.3 %	31.0 %	16.7 %	9.5 %	11.9 %	14.3 %	9.5 %	7.1 %	11.9 %	7.1 %	7.1 %
３０～３９歳	54	35	10	6	13	11	8	18	3	19	8	1	3	2	8	0
	100.0 %	64.8 %	18.5 %	11.1 %	24.1 %	20.4 %	14.8 %	33.3 %	5.6 %	35.2 %	14.8 %	1.9 %	5.6 %	3.7 %	14.8 %	0.0 %
４０～４９歳	62	24	10	5	15	5	12	17	5	18	15	5	1	11	4	3
	100.0 %	38.7 %	16.1 %	8.1 %	24.2 %	8.1 %	19.4 %	27.4 %	8.1 %	29.0 %	24.2 %	8.1 %	1.6 %	17.7 %	6.5 %	4.8 %
５０～５９歳	63	29	12	10	13	11	9	14	6	14	11	6	4	8	7	1
	100.0 %	46.0 %	19.0 %	15.9 %	20.6 %	17.5 %	14.3 %	22.2 %	9.5 %	22.2 %	17.5 %	9.5 %	6.3 %	12.7 %	11.1 %	1.6 %
６０～６９歳	92	49	11	11	9	8	21	19	10	28	28	17	11	7	4	2
	100.0 %	53.3 %	12.0 %	12.0 %	9.8 %	8.7 %	22.8 %	20.7 %	10.9 %	30.4 %	30.4 %	18.5 %	12.0 %	7.6 %	4.3 %	2.2 %
７０歳以上	80	31	8	16	11	4	15	14	13	32	21	8	14	5	2	5
	100.0 %	38.8 %	10.0 %	20.0 %	13.8 %	5.0 %	18.8 %	17.5 %	16.3 %	40.0 %	26.3 %	10.0 %	17.5 %	6.3 %	2.5 %	6.3 %
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

1位　2位　3位

(3) 川之江地区のまちづくりについて

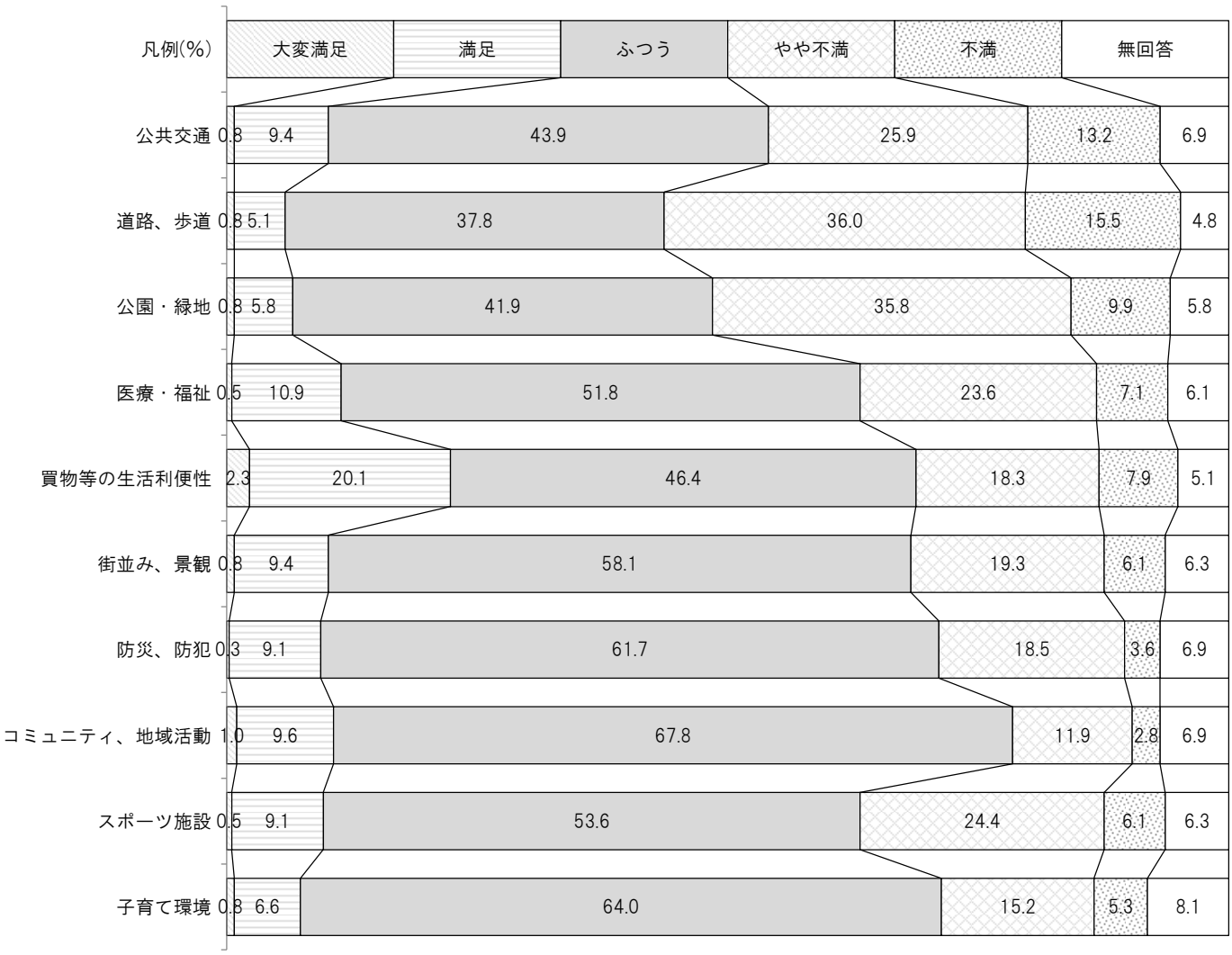
問8 川之江地区のまちづくりの評価をお聞かせください。

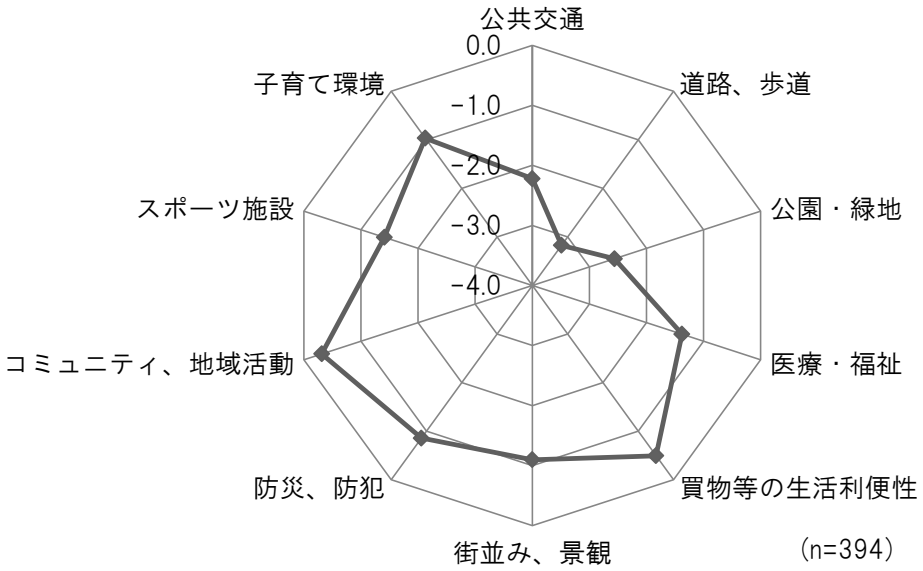
全体的に「ふつう(満足でも不満でもない)」と感じている回答者が多い。

しかし、全項目について「不満(不満 ＋ やや不満)」が多くを占め、満足度が０(ふつう)を超える項目がないことから、厳しい評価結果となっている。

特に評価が低いのは「道路、歩道」、「公園・緑地」、「公共交通」であり、都市基盤に関する評価が低い。

	評価	公共交通	道路、歩道	公園・緑地	医療・福祉	買物等の生活利便性	街並み、景観	防災、防犯	コミュニティ、地域活動	スポーツ施設	子育て環境
件数	全体	394	394	394	394	394	394	394	394	394	394
	大変満足	3	3	3	2	9	3	1	4	2	3
	満足	37	20	23	43	79	37	36	38	36	26
	ふつう	173	149	165	204	183	229	243	267	211	252
	やや不満	102	142	141	93	72	76	73	47	96	60
	不満	52	61	39	28	31	24	14	11	24	21
	無回答	27	19	23	24	20	25	27	27	25	32





※回答数を点数化し、満足度を算出した。0 に近づくほど満足度が高い。

【参考】点数化の方法

	評価	公共交通	道路、歩道	公園・緑地	医療・福祉	買物等の生活利便性	街並み、景観	防災、防犯	コミュニティ、地域活動	スポーツ施設	子育て環境
件数	全体	394	394	394	394	394	394	394	394	394	394
	大変満足	3	3	3	2	9	3	1	4	2	3
	満足	37	20	23	43	79	37	36	38	36	26
	ふつう	173	149	165	204	183	229	243	267	211	252
	やや不満	102	142	141	93	72	76	73	47	96	60
	不満	52	61	39	28	31	24	14	11	24	21
	無回答	27	19	23	24	20	25	27	27	25	32

↓
↓
点数化
↓
↓

それぞれの回答数に右の点数を乗じて点数化したものを合計し、全体回答数（無回答除く）で除して満足度を算出

大変満足……10 点
満　　足……5 点
ふ つ う……0 点
やや不満……-5 点
不　　満……-10 点

	評価	公共交通	道路、歩道	公園・緑地	医療・福祉	買物等の生活利便性	街並み、景観	防災、防犯	コミュニティ、地域活動	スポーツ施設	子育て環境
件数	全体※	367	375	371	370	374	369	367	367	369	362
点数	大変満足	30	30	30	20	90	30	10	40	20	30
	満足	185	100	115	215	395	185	180	190	180	130
	ふつう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	やや不満	-510	-710	-705	-465	-360	-380	-365	-235	-480	-300
	不満	-520	-610	-390	-280	-310	-240	-140	-110	-240	-210
合計点数		-815	-1190	-950	-510	-185	-405	-315	-115	-520	-350
満足度		-2.2	-3.2	-2.6	-1.4	-0.5	-1.1	-0.9	-0.3	-1.4	-1.0

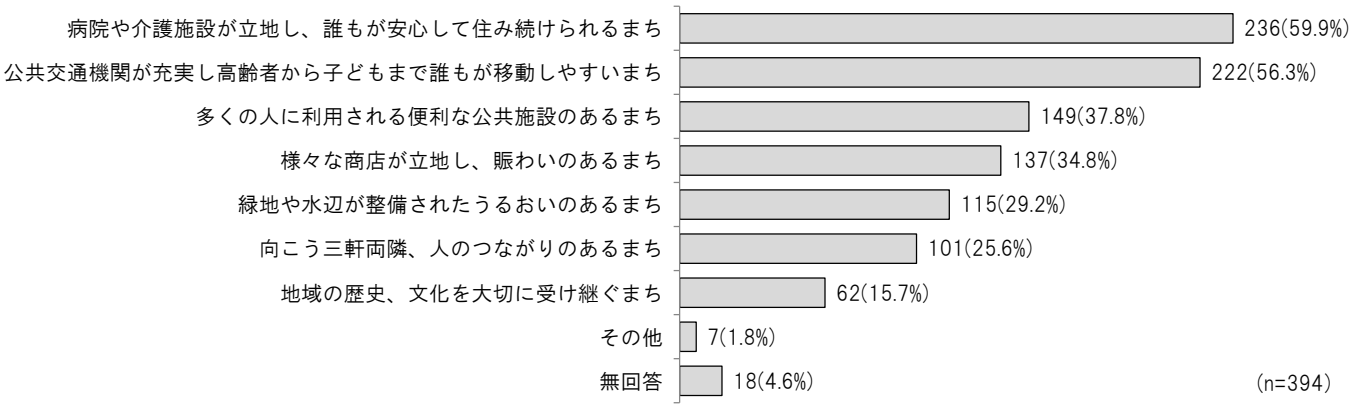
※無回答を除く。

計算例：公共交通の満足度　＝　（30 ＋ 185 ＋ 0 -510 -520）/ 367 ＝ -2.2

問9 川之江地区が将来どんなまちになったらいいと思いますか。（特にあてはまるもの３つまで○）

「病院や介護施設が立地し、誰もが安心して住み続けられるまち：59.9%」、「公共交通機関が充実し高齢者から子どもまで誰もが移動しやすいまち：56.3%」、「多くの人に利用される便利な公共施設のあるまち：37.8%」が上位を占めていることから、「子どもからお年寄りまで安心して暮らし続けられる生活環境が整ったまち」が求められている。

	件　数	%
全　体	394	100
病院や介護施設が立地し、誰もが安心して住み続けられるまち	236	59.9
公共交通機関が充実し高齢者から子どもまで誰もが移動しやすいまち	222	56.3
多くの人に利用される便利な公共施設のあるまち	149	37.8
様々な商店が立地し、賑わいのあるまち	137	34.8
緑地や水辺が整備されたうるおいのあるまち	115	29.2
向こう三軒両隣、人のつながりのあるまち	101	25.6
地域の歴史、文化を大切に受け継ぐまち	62	15.7
その他	7	1.8
無回答	18	4.6



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

	合計	公共交通機関が充実し高齢者から子どもまで誰もが移動しやすいまち	様々な商店が立地し、賑わいのあるまち	病院や介護施設が立地し、誰もが安心して住み続けられるまち	緑地や水辺が整備されたうるおいのあるまち	向こう三軒両隣、人のつながりのあるまち	多くの人に利用される便利な公共施設のあるまち	地域の歴史、文化を大切に受け継ぐまち	その他	無回答
全体	394	222	137	236	115	101	149	62	7	18
	100.0 %	56.3 %	34.8 %	59.9 %	29.2 %	25.6 %	37.8 %	15.7 %	1.8 %	4.6 %
１８～２９歳	42	23	21	14	17	12	13	12	0	1
	100.0 %	54.8 %	50.0 %	33.3 %	40.5 %	28.6 %	31.0 %	28.6 %	0.0 %	2.4 %
３０～３９歳	54	27	20	35	18	12	24	9	3	0
	100.0 %	50.0 %	37.0 %	64.8 %	33.3 %	22.2 %	44.4 %	16.7 %	5.6 %	0.0 %
４０～４９歳	62	32	23	34	20	11	26	5	0	5
	100.0 %	51.6 %	37.1 %	54.8 %	32.3 %	17.7 %	41.9 %	8.1 %	0.0 %	8.1 %
５０～５９歳	63	31	24	38	19	10	23	7	1	4
	100.0 %	49.2 %	38.1 %	60.3 %	30.2 %	15.9 %	36.5 %	11.1 %	1.6 %	6.3 %
６０～６９歳	92	51	32	59	27	26	32	15	2	3
	100.0 %	55.4 %	34.8 %	64.1 %	29.3 %	28.3 %	34.8 %	16.3 %	2.2 %	3.3 %
７０歳以上	80	58	17	56	14	30	31	14	1	4
	100.0 %	72.5 %	21.3 %	70.0 %	17.5 %	37.5 %	38.8 %	17.5 %	1.3 %	5.0 %
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

1位　2位　3位

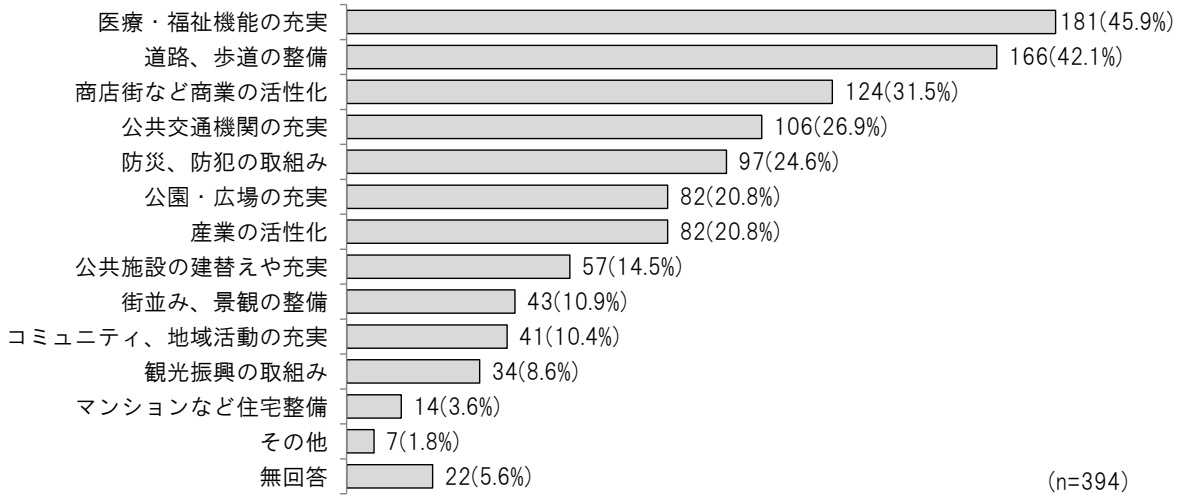
問10 川之江地区のまちづくりで重点的に取り組むべき項目はなんだと思いますか。（重要なもの３つまで○）

問 9 からも伺えるように、「医療・福祉機能の充実：45.9%」が最も重点的に取り組むべきこととして回答されている。次いで、「道路、歩道の整備：42.1%」、「商店街など商業の活性化：31.5%」となっている。

問 8 で最も評価が低かった道路、歩道については、問 10 では第 2 位となっている。

問 9 で、第 4 位となっていた「様々な商店が立地し、賑わいのあるまち」に関係して、問 10 では、「商店街など商業の活性化：31.5%」が第 3 位となっている。

	件　数	%
全　体	394	100
医療・福祉機能の充実	181	45.9
道路、歩道の整備	166	42.1
商店街など商業の活性化	124	31.5
公共交通機関の充実	106	26.9
防災、防犯の取組み	97	24.6
公園・広場の充実	82	20.8
産業の活性化	82	20.8
公共施設の建替えや充実	57	14.5
街並み、景観の整備	43	10.9
コミュニティ、地域活動の充実	41	10.4
観光振興の取組み	34	8.6
マンションなど住宅整備	14	3.6
その他	7	1.8
無回答	22	5.6



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

	合計	公共交通機関の充実	道路、歩道の整備	公園・広場の充実	医療・福祉機能の充実	マンションなど住宅整備	商店街など商業の活性化	公共施設の建替えや充実	産業の活性化	観光振興の取組み	街並み、景観の整備	防災、防犯の取組み	コミュニティ、地域活動の充実	その他	無回答
全体	394	106	166	82	181	14	124	57	82	34	43	97	41	7	22
	100.0 %	26.9 %	42.1 %	20.8 %	45.9 %	3.6 %	31.5 %	14.5 %	20.8 %	8.6 %	10.9 %	24.6 %	10.4 %	1.8 %	5.6 %
１８～２９歳	42	14	13	10	11	2	17	5	7	4	11	9	1	1	3
	100.0 %	33.3 %	31.0 %	23.8 %	26.2 %	4.8 %	40.5 %	11.9 %	16.7 %	9.5 %	26.2 %	21.4 %	2.4 %	2.4 %	7.1 %
３０～３９歳	54	10	25	18	27	3	20	9	12	6	6	12	6	3	0
	100.0 %	18.5 %	46.3 %	33.3 %	50.0 %	5.6 %	37.0 %	16.7 %	22.2 %	11.1 %	11.1 %	22.2 %	11.1 %	5.6 %	0.0 %
４０～４９歳	62	13	25	16	30	1	20	11	14	6	1	13	6	0	4
	100.0 %	21.0 %	40.3 %	25.8 %	48.4 %	1.6 %	32.3 %	17.7 %	22.6 %	9.7 %	1.6 %	21.0 %	9.7 %	0.0 %	6.5 %
５０～５９歳	63	20	20	12	36	5	19	7	19	5	6	10	6	1	4
	100.0 %	31.7 %	31.7 %	19.0 %	57.1 %	7.9 %	30.2 %	11.1 %	30.2 %	7.9 %	9.5 %	15.9 %	9.5 %	1.6 %	6.3 %
６０～６９歳	92	25	49	15	37	2	30	15	19	9	11	24	12	1	3
	100.0 %	27.2 %	53.3 %	16.3 %	40.2 %	2.2 %	32.6 %	16.3 %	20.7 %	9.8 %	12.0 %	26.1 %	13.0 %	1.1 %	3.3 %
７０歳以上	80	24	34	11	40	1	18	10	11	4	8	29	10	1	7
	100.0 %	30.0 %	42.5 %	13.8 %	50.0 %	1.3 %	22.5 %	12.5 %	13.8 %	5.0 %	10.0 %	36.3 %	12.5 %	1.3 %	8.8 %
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

1位	2位	3位

(4) 川之江地区の公共施設について

問11 それぞれ、どの程度公共施設を利用していますか。教育施設、保育所を除く川之江地区の主な公共施設についておたずねします。

どの施設も「利用したことはある」程度であり、積極的な利用はされていない。

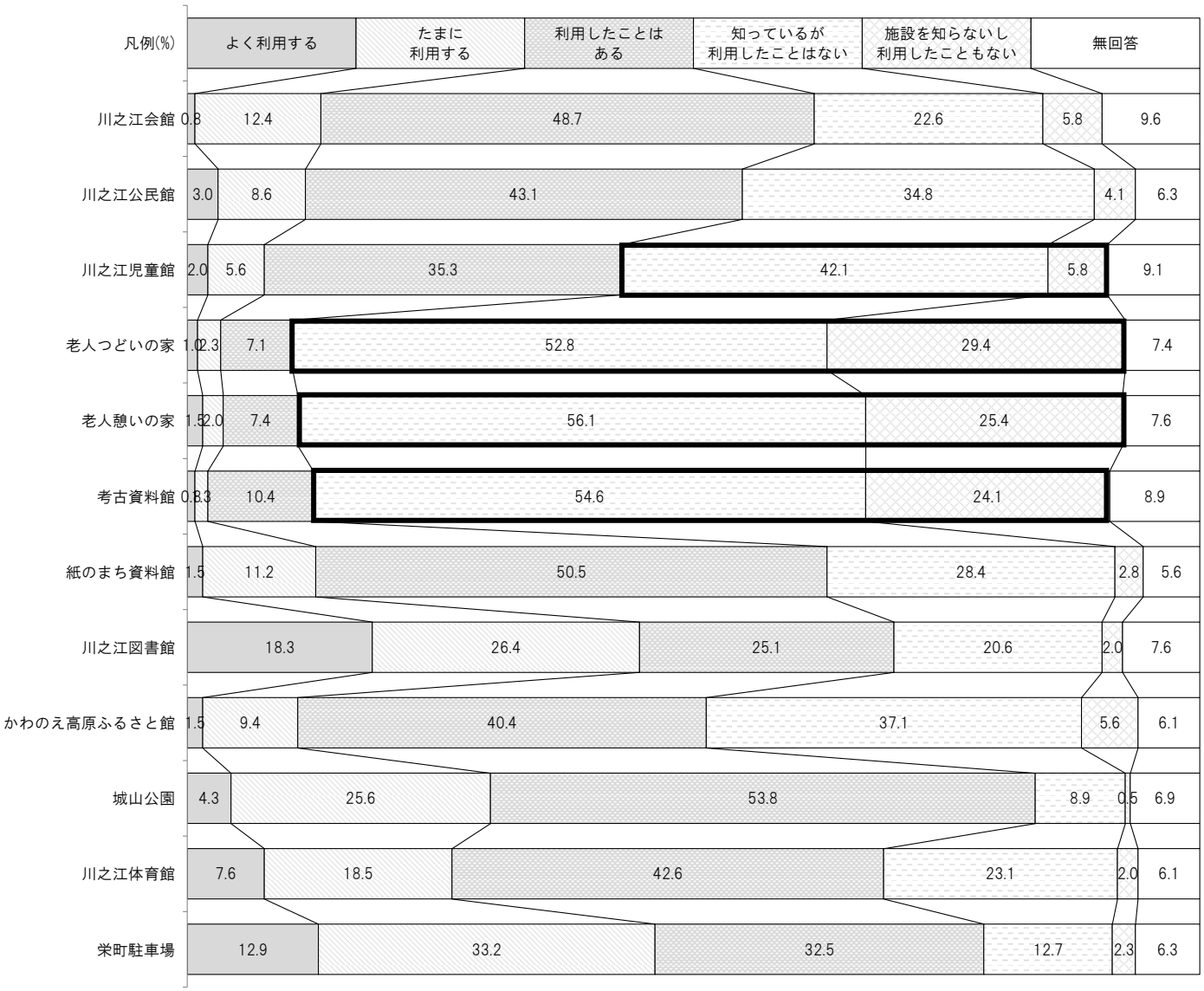
「川之江児童館」については、利用する年代や対象が子どもとその保護者に限られてくることから、利用したことがある回答者は 50 歳未満の子育て世代に多い。

「老人つどいの家」と「老人憩いの家」では、利用対象が 60 歳以上であるため、全体的に「利用したことがない」回答が強く出ている。しかし、60 歳以上の回答者のうち 7 割程度は利用していない。

「考古資料館」については、年代に関わらず「利用したことがない」の回答が 8 割弱となっているが、主目的が考古学資料の保管・展示や研究等、学術的な部分が強いことから、一般市民の頻繁な利用がないものと考えられる。(16 ページのクロス集計参照)

		全体	よく利用する（月1回以上程度）	たまに利用する（年数回程度）	利用したことはある	知っているが利用したことはない	施設を知らないし利用したこともない	無回答
川之江会館	件数	394	3	49	192	89	23	38
	%	100	0.8	12.4	48.7	22.6	5.8	9.6
川之江公民館	件数	394	12	34	170	137	16	25
	%	100	3.0	8.6	43.1	34.8	4.1	6.3
川之江児童館	件数	394	8	22	139	166	23	36
	%	100	2.0	5.6	35.3	42.1	5.8	9.1
老人つどいの家	件数	394	4	9	28	208	116	29
	%	100	1.0	2.3	7.1	52.8	29.4	7.4
老人憩いの家	件数	394	6	8	29	221	100	30
	%	100	1.5	2.0	7.4	56.1	25.4	7.6
考古資料館	件数	394	3	5	41	215	95	35
	%	100	0.8	1.3	10.4	54.6	24.1	8.9
紙のまち資料館	件数	394	6	44	199	112	11	22
	%	100	1.5	11.2	50.5	28.4	2.8	5.6
川之江図書館	件数	394	72	104	99	81	8	30
	%	100	18.3	26.4	25.1	20.6	2.0	7.6
かわのえ高原ふるさと館	件数	394	6	37	159	146	22	24
	%	100	1.5	9.4	40.4	37.1	5.6	6.1
城山公園	件数	394	17	101	212	35	2	27
	%	100	4.3	25.6	53.8	8.9	0.5	6.9
川之江体育館	件数	394	30	73	168	91	8	24
	%	100	7.6	18.5	42.6	23.1	2.0	6.1
栄町駐車場	件数	394 100.	51 12.9	131 33.2	128 32.5	50 12.7	9 2.3	25 6.3

※各施設の利用状況で、最も多い回答を太枠で示している。



※「利用したことがない(知っているが利用したことはない +施設を知らないし利用したこともない)」項目の割合が「利用する+利用したことはある」割合より多い施設に太枠をつけている。

■川之江児童館の利用状況

	合計	よく利用する（月１回以上程度）	たまに利用する（年数回程度）	利用したことはある	知っているが利用したことはない	施設を知らないし利用したこともない	無回答
全体	394	8	22	139	166	23	36
	100.0 %	2.0 %	5.6 %	35.3 %	42.1 %	5.8 %	9.1 %
１８～２９歳	42	1	3	23	12	3	0
	100.0 %	2.4 %	7.1 %	54.8 %	28.6 %	7.1 %	0.0 %
３０～３９歳	54	4	7	23	16	3	1
	100.0 %	7.4 %	13.0 %	42.6 %	29.6 %	5.6 %	1.9 %
４０～４９歳	62	1	6	26	22	3	4
	100.0 %	1.6 %	9.7 %	41.9 %	35.5 %	4.8 %	6.5 %
５０～５９歳	63	0	1	23	32	3	4
	100.0 %	0.0 %	1.6 %	36.5 %	50.8 %	4.8 %	6.3 %
６０～６９歳	92	1	1	31	51	3	5
	100.0 %	1.1 %	1.1 %	33.7 %	55.4 %	3.3 %	5.4 %
７０歳以上	80	1	4	13	33	8	21
	100.0 %	1.3 %	5.0 %	16.3 %	41.3 %	10.0 %	26.3 %
無回答	1	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

■老人つどいの家の利用状況

	合計	よく利用する（月１回以上程度）	たまに利用する（年数回程度）	利用したことはある	知っているが利用したことはない	施設を知らないし利用したこともない	無回答
全体	394	4	9	28	208	116	29
	100.0 %	1.0 %	2.3 %	7.1 %	52.8 %	29.4 %	7.4 %
１８～２９歳	42	0	0	1	24	17	0
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	2.4 %	57.1 %	40.5 %	0.0 %
３０～３９歳	54	0	0	5	30	18	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	9.3 %	55.6 %	33.3 %	1.9 %
４０～４９歳	62	0	1	0	28	29	4
	100.0 %	0.0 %	1.6 %	0.0 %	45.2 %	46.8 %	6.5 %
５０～５９歳	63	0	1	3	40	15	4
	100.0 %	0.0 %	1.6 %	4.8 %	63.5 %	23.8 %	6.3 %
６０～６９歳	92	1	3	7	53	23	5
	100.0 %	1.1 %	3.3 %	7.6 %	57.6 %	25.0 %	5.4 %
７０歳以上	80	3	4	12	33	14	14
	100.0 %	3.8 %	5.0 %	15.0 %	41.3 %	17.5 %	17.5 %
無回答	1	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

■老人憩いの家の利用状況

	合計	よく利用する（月１回以上程度）	たまに利用する（年数回程度）	利用したことはある	知っているが利用したことはない	施設を知らないし利用したこともない	無回答
全体	394	6	8	29	221	100	30
	100.0 %	1.5 %	2.0 %	7.4 %	56.1 %	25.4 %	7.6 %
１８～２９歳	42	0	0	1	23	18	0
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	2.4 %	54.8 %	42.9 %	0.0 %
３０～３９歳	54	0	0	2	30	21	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	3.7 %	55.6 %	38.9 %	1.9 %
４０～４９歳	62	0	0	0	34	25	3
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	54.8 %	40.3 %	4.8 %
５０～５９歳	63	0	0	5	40	14	4
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	7.9 %	63.5 %	22.2 %	6.3 %
６０～６９歳	92	2	3	7	59	16	5
	100.0 %	2.2 %	3.3 %	7.6 %	64.1 %	17.4 %	5.4 %
７０歳以上	80	4	5	14	35	6	16
	100.0 %	5.0 %	6.3 %	17.5 %	43.8 %	7.5 %	20.0 %
無回答	1	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

■考古資料館の利用状況

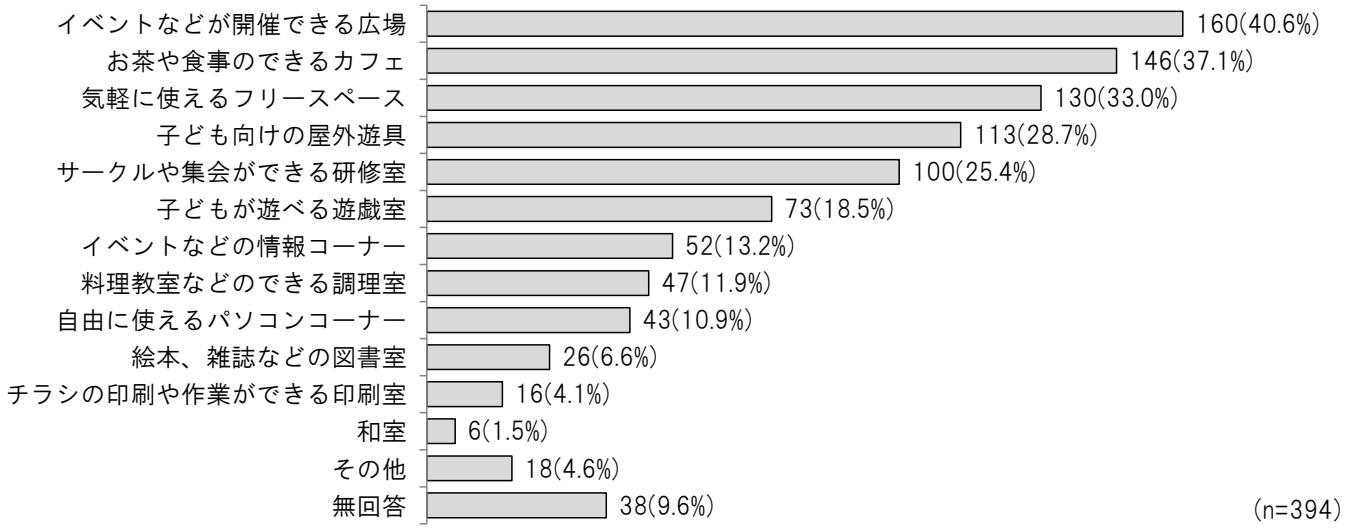
	合計	よく利用する（月１回以上程度）	たまに利用する（年数回程度）	利用したことはある	知っているが利用したことはない	施設を知らないし利用したこともない	無回答
全体	394	3	5	41	215	95	35
	100.0 %	0.8 %	1.3 %	10.4 %	54.6 %	24.1 %	8.9 %
１８～２９歳	42	0	0	8	24	10	0
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	19.0 %	57.1 %	23.8 %	0.0 %
３０～３９歳	54	0	0	5	34	14	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	9.3 %	63.0 %	25.9 %	1.9 %
４０～４９歳	62	0	0	7	31	21	3
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	11.3 %	50.0 %	33.9 %	4.8 %
５０～５９歳	63	0	1	6	35	17	4
	100.0 %	0.0 %	1.6 %	9.5 %	55.6 %	27.0 %	6.3 %
６０～６９歳	92	1	2	8	51	23	7
	100.0 %	1.1 %	2.2 %	8.7 %	55.4 %	25.0 %	7.6 %
７０歳以上	80	2	2	7	40	10	19
	100.0 %	2.5 %	2.5 %	8.8 %	50.0 %	12.5 %	23.8 %
無回答	1	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

1位	2位	3位

問12 どのような機能が公共施設に必要だと思いますか。（特にあてはまるもの３つまで○）

「イベントなどが開催できる広場：40.6%」、「お茶や食事のできるカフェ：37.1%」、「気軽に使えるフリースペース：33.0%」が公共施設に求めている機能となっている。「イベントなどが開催できる広場」と「お茶や食事のできるカフェ」については、年代に関わらず同様の傾向であるが、「気軽に使えるフリースペース」は特に 50～69 歳代に割合が多い(次ページのクロス集計参照)。

	件　数	%
全　体	394	100
イベントなどが開催できる広場	160	40.6
お茶や食事のできるカフェ	146	37.1
気軽に使えるフリースペース	130	33.0
子ども向けの屋外遊具	113	28.7
サークルや集会ができる研修室	100	25.4
子どもが遊べる遊戯室	73	18.5
イベントなどの情報コーナー	52	13.2
料理教室などのできる調理室	47	11.9
自由に使えるパソコンコーナー	43	10.9
絵本、雑誌などの図書室	26	6.6
チラシの印刷や作業ができる印刷室	16	4.1
和室	6	1.5
その他	18	4.6
無回答	38	9.6



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

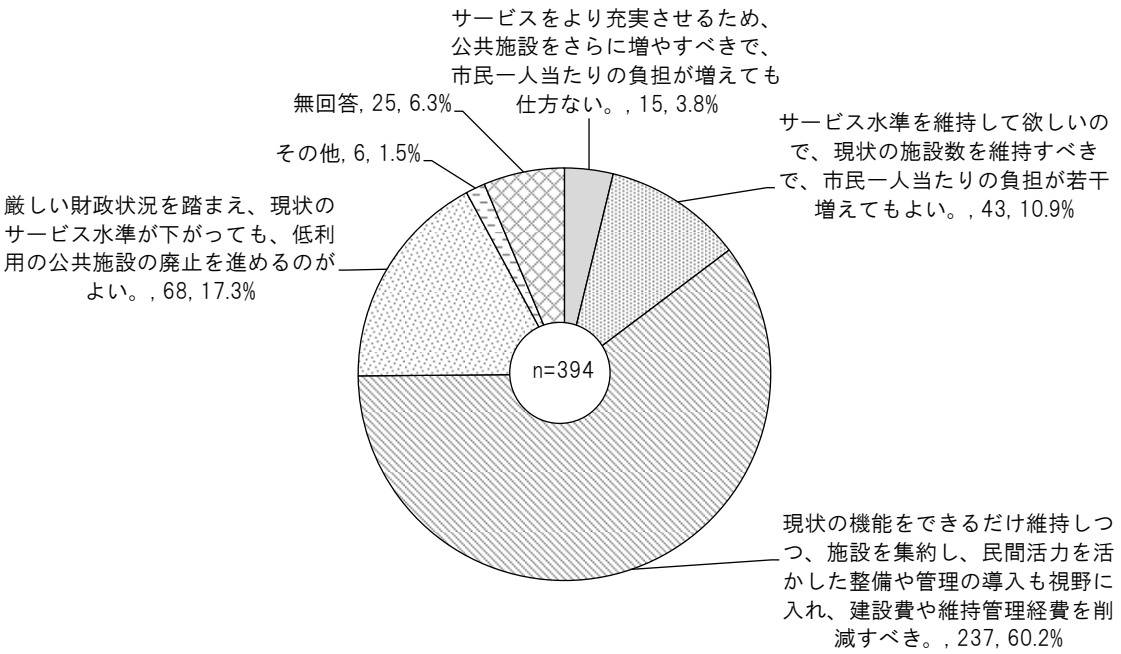
	合計	サークルや集会ができる研修室	料理教室などのできる調理室	イベントなどが開催できる広場	子ども向けの屋外遊具	自由に使えるパソコンコーナー	イベントなどの情報コーナー	子どもが遊べる遊戯室	絵本、雑誌などの図書室	気軽に使えるフリースペース	和室	チラシの印刷や作業ができる印刷室	お茶や食事のできるカフェ	その他	無回答
全体	394	100	47	160	113	43	52	73	26	130	6	16	146	18	38
	100.0 %	25.4 %	11.9 %	40.6 %	28.7 %	10.9 %	13.2 %	18.5 %	6.6 %	33.0 %	1.5 %	4.1 %	37.1 %	4.6 %	9.6 %
１８～２９歳	42	4	6	20	15	5	5	7	5	13	0	1	22	1	2
	100.0 %	9.5 %	14.3 %	47.6 %	35.7 %	11.9 %	11.9 %	16.7 %	11.9 %	31.0 %	0.0 %	2.4 %	52.4 %	2.4 %	4.8 %
３０～３９歳	54	15	5	25	25	5	3	19	1	14	1	1	22	2	2
	100.0 %	27.8 %	9.3 %	46.3 %	46.3 %	9.3 %	5.6 %	35.2 %	1.9 %	25.9 %	1.9 %	1.9 %	40.7 %	3.7 %	3.7 %
４０～４９歳	62	12	7	26	21	9	10	11	6	19	0	1	21	3	6
	100.0 %	19.4 %	11.3 %	41.9 %	33.9 %	14.5 %	16.1 %	17.7 %	9.7 %	30.6 %	0.0 %	1.6 %	33.9 %	4.8 %	9.7 %
５０～５９歳	63	17	9	26	14	9	8	8	4	22	0	2	22	2	6
	100.0 %	27.0 %	14.3 %	41.3 %	22.2 %	14.3 %	12.7 %	12.7 %	6.3 %	34.9 %	0.0 %	3.2 %	34.9 %	3.2 %	9.5 %
６０～６９歳	92	23	6	31	25	11	18	15	4	34	2	6	34	5	9
	100.0 %	25.0 %	6.5 %	33.7 %	27.2 %	12.0 %	19.6 %	16.3 %	4.3 %	37.0 %	2.2 %	6.5 %	37.0 %	5.4 %	9.8 %
７０歳以上	80	29	14	32	13	4	8	13	6	28	3	5	25	5	12
	100.0 %	36.3 %	17.5 %	40.0 %	16.3 %	5.0 %	10.0 %	16.3 %	7.5 %	35.0 %	3.8 %	6.3 %	31.3 %	6.3 %	15.0 %
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

1位	2位	3位

問13 川之江地区の公共施設の多くは、老朽化し更新の時期を迎えています。少子高齢化社会で税収の減少が見込まれ、一度にすべての施設を更新するのは現実的ではありません。こうした中、今後の公共施設整備をどのように進めていくのがよいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

回答者の 60.2%が「現状の機能をできるだけ維持しつつ、施設を集約し、民間活力を活かした整備や管理の導入も視野に入れ、建設費や維持管理経費を削減すべき。」と回答しており、「厳しい財政状況を踏まえ、現状のサービス水準が下がっても、低利用の公共施設の廃止を進めるのがよい。」が 17.3%あることから、公共施設の数を減らし(集約)しつつ効率的な運用が求められている。

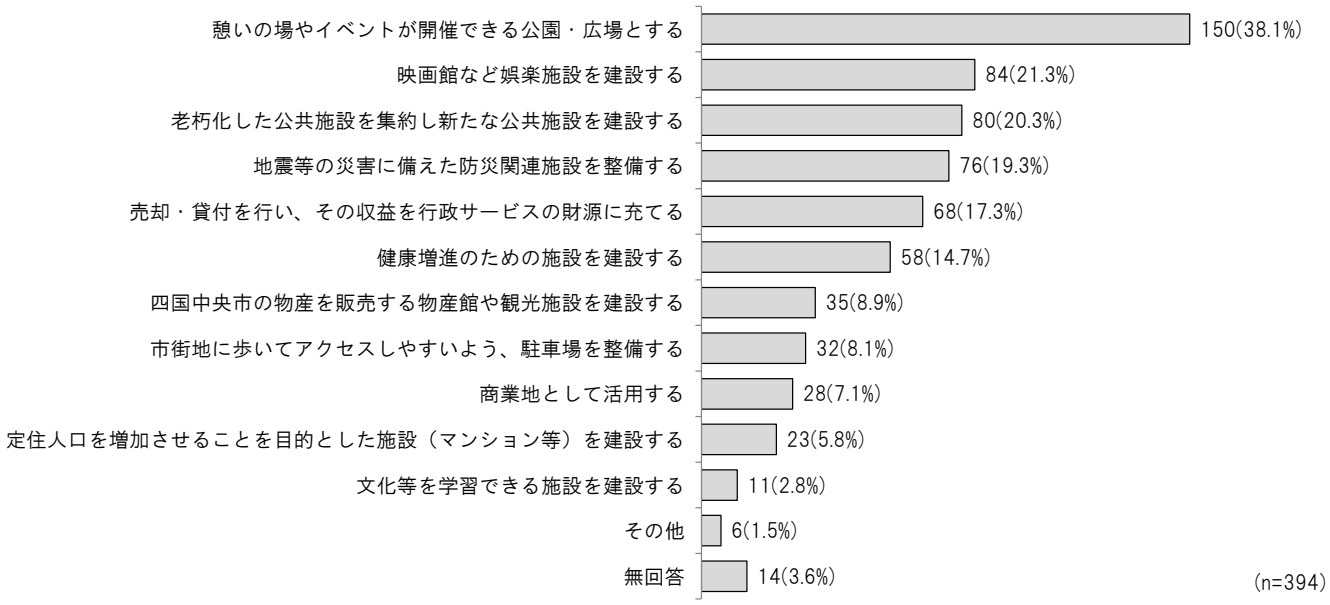
	件　数	%
全　体	394	100
サービスをより充実させるため、公共施設をさらに増やすべきで、市民一人当たりの負担が増えても仕方ない。	15	3.8
サービス水準を維持して欲しいので、現状の施設数を維持すべきで、市民一人当たりの負担が若干増えてもよい。	43	10.9
現状の機能をできるだけ維持しつつ、施設を集約し、民間活力を活かした整備や管理の導入も視野に入れ、建設費や維持管理経費を削減すべき。	237	60.2
厳しい財政状況を踏まえ、現状のサービス水準が下がっても、低利用の公共施設の廃止を進めるのがよい。	68	17.3
その他	6	1.5
無回答	25	6.3



問14 新たな市民文化ホールの建設に伴って、川之江会館は平成 27 年度以降に解体が予定されています。川之江会館跡地はどのように活用すべきと思いますか。(特にあてはまるもの２つまで○)

「憩いの場やイベントが開催できる公園・広場とする：38.1%」、「映画館など娯楽施設を建設する：21.3%」、「老朽化した公共施設を集約し新たな公共施設を建設する：20.3%」が、跡地利用として多い意見となっている。公園・広場への意向は、各年代で同じ傾向であるが、娯楽施設への意向は、60 歳未満の回答者に多い(特に 30 歳未満の回答者)。公共施設を集約する意見としては、30 歳未満と 50 歳以上の回答者に多い(次ページのクロス集計参照)。

	件　数	%
全　体	394	100
憩いの場やイベントが開催できる公園・広場とする	150	38.1
映画館など娯楽施設を建設する	84	21.3
老朽化した公共施設を集約し新たな公共施設を建設する	80	20.3
地震等の災害に備えた防災関連施設を整備する	76	19.3
売却・貸付を行い、その収益を行政サービスの財源に充てる	68	17.3
健康増進のための施設を建設する	58	14.7
四国中央市の物産を販売する物産館や観光施設を建設する	35	8.9
市街地に歩いてアクセスしやすいよう、駐車場を整備する	32	8.1
商業地として活用する	28	7.1
定住人口を増加させることを目的とした施設（マンション等）を建設する	23	5.8
文化等を学習できる施設を建設する	11	2.8
無回答	14	3.6



※n=394 以外の(　　)内数字は、全体に占める割合を示す。

	合計	老朽化した公共施設を集約し新たな公共施設を建設する	憩いの場やイベントが開催できる公園・広場とする	定住人口を増加させることを目的とした施設（マンション等）を建設する	四国中央市の物産を販売する物産館や観光施設を建設する	文化等を学習できる施設を建設する	映画館など娯楽施設を建設する	市街地に歩いてアクセスしやすいよう、駐車場を整備する	地震等の災害に備えた防災関連施設を整備する	健康増進のための施設を建設する	商業地として活用する	売却・貸付を行い、その収益を行政サービスの財源に充てる	その他	無回答
全体	394	80	150	23	35	11	84	32	76	58	28	68	6	14
	100.0 %	20.3 %	38.1 %	5.8 %	8.9 %	2.8 %	21.3 %	8.1 %	19.3 %	14.7 %	7.1 %	17.3 %	1.5 %	3.6 %
１８～２９歳	42	9	14	3	4	1	18	4	5	4	6	5	3	0
	100.0 %	21.4 %	33.3 %	7.1 %	9.5 %	2.4 %	42.9 %	9.5 %	11.9 %	9.5 %	14.3 %	11.9 %	7.1 %	0.0 %
３０～３９歳	54	10	28	5	6	0	11	4	11	6	3	8	1	1
	100.0 %	18.5 %	51.9 %	9.3 %	11.1 %	0.0 %	20.4 %	7.4 %	20.4 %	11.1 %	5.6 %	14.8 %	1.9 %	1.9 %
４０～４９歳	62	10	25	2	5	3	19	6	9	9	7	14	0	1
	100.0 %	16.1 %	40.3 %	3.2 %	8.1 %	4.8 %	30.6 %	9.7 %	14.5 %	14.5 %	11.3 %	22.6 %	0.0 %	1.6 %
５０～５９歳	63	13	23	3	5	2	17	4	7	12	4	13	0	1
	100.0 %	20.6 %	36.5 %	4.8 %	7.9 %	3.2 %	27.0 %	6.3 %	11.1 %	19.0 %	6.3 %	20.6 %	0.0 %	1.6 %
６０～６９歳	92	18	36	5	5	3	13	4	19	14	7	19	2	2
	100.0 %	19.6 %	39.1 %	5.4 %	5.4 %	3.3 %	14.1 %	4.3 %	20.7 %	15.2 %	7.6 %	20.7 %	2.2 %	2.2 %
７０歳以上	80	20	24	5	10	2	6	10	25	13	1	9	0	8
	100.0 %	25.0 %	30.0 %	6.3 %	12.5 %	2.5 %	7.5 %	12.5 %	31.3 %	16.3 %	1.3 %	11.3 %	0.0 %	10.0 %
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %

1位	2位	3位

(5) 自由意見

【注意】意見を抜粋・要約している

まちの将来像	＜誇りに思えるまちへ＞ ・子どもたちが「川之江が好きだ」と誇りに思え、大人になっても戻ってくるまちへ ・子どもや高齢者にとって「やさしい」まちづくり ・若い人達が安心して暮せるまちづくり ・人の流れが増え、人との交流がある「笑顔」になれる場所づくり ・各世代の住民すべてが、地域に出ていけるようなまち ・人の横のつながりが良い環境づくり
労働・産業・商業	＜雇用＞ ・働く場を増やす ・若い人、高齢の人の働く場をつくる ＜地場産業のアピール＞ ・紙産業を重視しつつ、伝統文化・観光等を全国にアピール ＜子育て・主婦の働ける環境づくり＞ ・税収アップのためにも、保育所を増設して子育て主婦も働いて税金を納められる環境づくり（再雇用する会社への優遇措置、フレックスタイム制など） ＜まちの活性化＞ ・栄町、駅通り商店街の人通りが少ない ・大型商業店や文化ホールなどお互いに行き来ができる街 ＜観光客を集客＞ ・市外から観光客を呼び込む ・川之江町内の太鼓台全ての展示場として市内外の人々に見ていただく ＜買い物利便性＞ 食物以外の日常生活用品を欲しいと思っても、商店街は多くの店が閉まっているし、「ちょっとこれが欲しい」という時に不便 ＜人が集まる商用施設・イベントの開催＞ ・目的に合わせ変化できる柔軟性のある施設（制約、規制は少なくし、商用使用などもある程度許容し、維持費程度の収益を確保できるもの） ・人が集まるような施設やイベント開催 ・市外、県外から人が買い物に来るような商業施設を誘致し、地域活性化、雇用促進に力を入れる ・飲食店やアパレル店を誘致 ＜複合ビル＞ ・低層階に商業施設、貸オフィス、テナント等で、上層階がマンション、映画館もある様なビル ＜美術館や映画館などの娯楽施設＞ ・美術館や映画館、緑地をなるべくたくさん作る ・小規模でも映画館、ショッピング、飲食店などの娯楽施設がまとまってある公共の施設、公園等
公共交通機関	＜中・近距離の公共交通＞ ・池田行のバスを運行させる

	・交通の便が悪いので、交通（バス・電車）の充実が必要 ・高齢化社会のため、今以上に公共交通機関の充実が必要 ・買物弱者のためにもデマンドバスの数を増便 ＜長距離・県外への公共交通＞ ・四国中央市に空港を建設し羽田までの国内線を通す
医療・福祉	＜病院が少ない＞ ・病院の専門医が少ない ・病院が少ない ＜税金・医療費が高い＞ ・税金、医療費が他市にくらべて高額 ＜福祉＞ ・介護の充実 ・高齢者施設が増えてきたが、条件によって入所出来ないのが現状 ・助けあって、暮らせるような老人ホーム、老人の家の様な所が欲しい ・市が運営している老人ホームがこの地区から遠く不便
環境	＜環境＞ ・悪臭防止の為、排出規制を設ける ・水質の改善
安全性	＜安心･安全＞ ・治安が悪い（車の運転マナーが悪い） ・市民会館にもう少し外灯をつける ・防犯灯の増設とＬＥＤ化 ＜防災＞ ・自然災害のための対策 ・火災や震災時の対策（路上駐車やブロック塀のひび割れなど） ・金生川下流堤防の整備
道路・交通	＜道路・歩道の整備（段差や幅の拡幅）＞ ・安全な通学路の整備 ・通学路はアップダウンがあり幅員が狭い ・川之江小学校周辺の歩道の整備、道路の拡幅 ・歩道が狭く、凸凹により歩きにくい ・舗装の悪さと歩道の段差でベビーカーでの散歩が危険 ・バスが通る道路整備 ・香川県に比べて道が悪い ・箱物より、まず道路を充実 ・救急車が入れるような道を整備 ・道路が狭く歩道がない、自転車は危険 ・自転車専用道路の整備 ＜国道 11 号線の整備＞ ・渋滞解消 ・バイパス工事の早期着手 ・トラック専用の道路整備 ＜信号機＞ ・井地の交差点（丸住製紙本社前）の信号待ち時間が長い ＜環境保護＞

	・金生川（川之江地区）に遊歩道を整備し、野鳥の保護
公園	＜子どもの遊び場・広場＞ ・幼い子ども遊べる衛生的で安全な遊び場所 ・子どもが遊べる公園、広場が少ない ・みんなが集まって遊べる広い公園が川之江地区にはない ・無料で家族全員が楽しめる公園 ・子どもがボール遊びできる場所 ＜公園内の管理＞ ・公園の遊具は古く、草も生えている ・犬のふんのおきざりなど利用者のモラルのなさ ＜ウォーキングできる場所・健康増進＞ ・安心してウォーキングができる場所の整備 ・ランニングができる場所の整備 ・パブリックゴルフ場 ・テニス場 ＜高齢者への配慮＞ ・健康増進、疾病予防の観点から高齢者が利用しやすい散歩道やベンチ（屋根付）などを設置 ・高齢者の健康維持やコミュニケーションに活用できる施設・場所 ＜既存の公園等の活用＞ ・城山公園は桜の時期以外も利用方法を検討 ・川之江体育館や野球場などの有効活用 ‹防災機能› ・災害時には避難場所にも利用できるような多角的な利用を目的とした公園・広場 ＜緑地公園＞ ・川之江会館跡地は金生川遊歩道と関連付けて緑地公園にし、旧図書館も同時に取り壊す ＜ペット可の公園の新設＞ ・人と犬が一緒に遊べる場所（犬を通じてのコミュニケーションの場としてドッグランの整備）
公共施設	＜老朽化＞ ・老朽化した施設を再構築し、人が集える場とする ・児童館の老朽化 ・スポーツ施設の老朽化 ＜公共トイレの削減＞ ・栄町駐車場横に公共トイレが何カ所もあるが、必要性の無い物は撤去 ＜施設内展示物に変化がない＞ ・高原ふるさと館、紙のまち資料館に何度か行ったことがあるが、いつ行っても展示物が同じでおもしろくない ＜利用頻度の少ない施設の閉館・集約→経費削減廃止・集約＞ ・城山城や高原ふるさと館は閉館し無駄な経費は使わない ・川之江会館は取り壊し、大型バスも立ち寄れる観光施設（道の駅）をつくり、考古資料館は紙のまち資料館か高原ふるさと館に資料を移設させて取壊す ・人件費削減のため、老朽度合いに関わらず低利用の公共施設は廃止する

	・老朽化した施設はなるべく集約し、あまりバラバラにならないようにしてほしい ・公共施設が集まっておらず、車がないと行けない ＜駐車場が不便＞ ・公共施設がバラバラにあるため、駐車場が狭く困っている ・駐車に困る施設もあるので、先々の事も考え、施設の集約をぜひお願いしたい ＜公共施設の新設＞ ・公共施設はこれ以上必要ない ・一部の者だけが潤う公共施設なら必要ない ・人口が減ってくるので無駄なことにお金を使わないで欲しい ＜公共施設の維持管理費＞ ・大きな建物を建ててもあまり役に立たないし、必ず管理人が必要になる ・新しい建物を建てると、それに対する維持、管理費がかかる。市民の血税を使って、箱物を増やすという安易な考えは止めるべき ・各施設管理人の現状を見て検討 ・広場と公共施設を集約し、管理費を見直せるような施設建設 ＜公共施設の利用環境・設備の充実＞ ・川之江図書館の利用時間延長 ・体育館に冷暖房を設置する ＜スポーツ施設＞ ・スポーツ施設、体育館、テニスセンター、野球場、バラバラで利用するのに不便 ・川之江はスポーツが栄んな割に球場、市民グラウンド、体育館とバラバラな所にあり、体育館は雨漏りもしている ・高齢者向けの室内スポーツ施設が欲しい。 ＜老若男女が集える場＞ ・点在する施設を集約して、老若男女が集える憩いの場があれば、そこから、色々な発想が出て、まちが活性化するのではないか ・川之江公民館、川之江児童館、老人つどいの家が一体となった建物をつくる ＜各世代で楽しめる施設＞ ・家族全員で楽しめる施設 ・旧市民会館跡地には室内プール、ジョギング等の出来る会館や、憩いの家の様な老人も集える様な建物 ・高齢化社会に対応した施策、三世代が交流できるような施設を充実させ、老若男女が集える活気ある街にする
川之江プール	＜今後の活用＞ ・市民プールは何らかの対策をして再開 ・川之江のプール跡は、幼児や小学生又、老人などがゆっくり遊び、くつろげる場所にする ・市民プールはこのまま老朽化が進めば危険 ・いつまで今のままなのか
その他	＜東部がさみしい＞ ・公共施設や大型店が西へ西へと移動して東がさびしくなっているのが不安 ＜アンケート、その後の進め方への意見＞ ・届いた意見は要約でも良いので公開し、その意見に対する行政側のコメントもつける

	・アンケートだけではなく説明会や意見を話し合える場を開く ＜その他＞ ・知らない施設が多い ・下水道の完備 ・商店街の空き店舗を市役所の出張所にしてはどうか ・公共施設の受付をシルバー人材センターにお願いするなどして、管理コストを下げ、その分メンテナンスを充実させてはどうか ・市職員の職務体制の改善と、年功序列の給与体系の見直し ・子どもでも気軽に使用できる釣り用の堤防や、若い人の教育できる場、小さい子どものための公園が必要であり、箱物は市民の負担が増える ・目標を定めたまちづくりを ・市民の負担を増やさずに活性化 ・中之庄の埋立地に大型商業施設を誘致、川之江に情報処理の専門学校を誘致 ・川之江地区に市役所の出張所を設置 ・今までの常識にとらわれない事 ・川之江の夜景、煙突の見える景色は、活気づいていると感じられ、元気をもらえる ・皆でよい案を出し、その上に専門家に教えを請う ・力を合わせて頑張りましょう！

アンケート調査票

ア．あなた自身のことについてうかがいます。

問１．あなたの年齢はおいくつですか。（あてはまるもの１つに○）

１．１８～２９歳	２．３０～３９歳	３．４０～４９歳
４．５０～５９歳	５．６０～６９歳	６．７０歳以上

問２．あなたの性別を教えてください。（あてはまるもの１つに○）

１．男性	２．女性

問３．あなたのお住まいの地区を教えてください。（あてはまるもの１つに○）

１．井地	２．西新町	３．鉄砲町	４．古町	５．川原町	６．城北
７．中須	８．西ノ浜	９．東浜	10．浦町	11．港通り	12．馬場
13．山下	14．旭町	15．新町	16．栄橋通り	17. 栄町上通り	18．栄町
19．駅通り	20．農人町	21．塩谷	22．宮の谷	23．東町	24．東大門
25．天生津	26．大門	27．西大門	28．宝洞山	29．余木	30．長須
31．その他（　　）					

イ．川之江地区の現状についてうかがいます。

問４．川之江地区の住みよさはいかがですか。（あてはまるもの１つに○）

１．大変良い	２．どちらかと言えば良い	３．ふつう
４．少し住みにくい	５．住みにくい	

問５．川之江地区に住み続けたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

１．住み続けたい	２．できれば住み続けたい	３．あまり住み続けたくない
４．住み続けたくない	５．わからない	

問６．川之江地区の魅力、地域資源はなんだと思いますか。（最もあてはまるもの３つまで○）

１．バス・鉄道など公共交通	２．商店街など買物の利便性
３．イベントなどの賑わい	４．野球場などスポーツ環境
５．図書館など公共施設集積	６．城、遺跡などの歴史資源
７．海、川、山などの自然	８．新鮮な魚などの物産
９．地場産業（製紙業等）	10．落ち着いた住環境
11．活発な市民活動	12．人のつながり
13．その他（　　）	

問７．川之江地区の問題点はなんだと思いますか。（最もあてはまるもの３つまで○）

１．まちの賑わい不足	２．働く場が不足	３．買物に不便
４．医療機関が不足	５．子育て環境	６．公共交通が不便
７．緑地、公園などが不足	８．騒音など住環境問題	９．歩道など道路整備が不足
10．公共施設の老朽化	11．まちづくりの人材不足	12．人のつながりが希薄
13．スポーツ施設が不足	14．その他（　　）	

ウ．川之江地区のまちづくりについてうかがいます。

問８．川之江地区のまちづくりの評価をお聞かせください。

	大変満足	満足	ふつう	やや不満	不満
記入例	1	②	3	4	5
A.公共交通の利便性	1	2	3	4	5
B.道路、歩道	1	2	3	4	5
C.公園・緑地	1	2	3	4	5
D.医療・福祉	1	2	3	4	5
E.買物等の生活利便性	1	2	3	4	5
F.街並み、景観	1	2	3	4	5
G.防災、防犯	1	2	3	4	5
H.コミュニティ、地域活動	1	2	3	4	5
I.スポーツ施設	1	2	3	4	5
J.子育て環境	1	2	3	4	5

問９．川之江地区が将来どんなまちになったらいいと思いますか。（特にあてはまるもの３つまで○）

１．公共交通機関が充実し高齢者から子どもまで誰もが移動しやすいまち
２．様々な商店が立地し、賑わいのあるまち
３．病院や介護施設が立地し、誰もが安心して住み続けられるまち
４．緑地や水辺が整備されたうるおいのあるまち
５．向こう三軒両隣、人のつながりのあるまち
６．多くの人に利用される便利な公共施設のあるまち
７．地域の歴史、文化を大切に受け継ぐまち
８．その他（　　）

問 10．川之江地区のまちづくりで重点的に取り組むべき項目はなんだと思いますか。（重要なもの３つまで○）

１．公共交通機関の充実
２．道路、歩道の整備
３．公園・広場の充実
４．医療・福祉機能の充実
５．マンションなど住宅整備
６．商店街など商業の活性化
７．公共施設の建替えや充実
８．産業の活性化
９．観光振興の取組み
10．街並み、景観の整備
11．防災、防犯の取組み
12．コミュニティ、地域活動の充実
13．その他（　　）

エ．川之江地区の公共施設についてうかがいます。

問 11．それぞれ、どの程度公共施設を利用していますか。教育施設、保育所を除く川之江地区の主な公共施設についておたずねします。（別添「川之江地区の主な公共施設」をご参照下さい）

	よく利用する（月１回以上程度）	たまに利用する（年数回程度）	利用したことはある	知っているが利用したことはない	施設を知らないし利用したこともない
記入例	1	②	3	4	5
A.川之江会館	1	2	3	4	5
B.川之江公民館	1	2	3	4	5
C.川之江児童館	1	2	3	4	5
D.老人つどいの家	1	2	3	4	5
E.老人憩いの家	1	2	3	4	5
F.考古資料館	1	2	3	4	5
G.紙のまち資料館	1	2	3	4	5
H.川之江図書館	1	2	3	4	5
I.かわのえ高原ふるさと館	1	2	3	4	5
J.城山公園	1	2	3	4	5
K.川之江体育館	1	2	3	4	5
L.栄町駐車場	1	2	3	4	5

問 12．どのような機能が公共施設に必要だと思いますか。（特にあてはまるもの３つまで○）

１．サークルや集会ができる研修室	２．料理教室などのできる調理室
３．イベントなどが開催できる広場	４．子ども向けの屋外遊具
５．自由に使えるパソコンコーナー	６．イベントなどの情報コーナー
７．子どもが遊べる遊戯室	８．絵本、雑誌などの図書室
９．気軽に使えるフリースペース	10．和室
11．チラシの印刷や作業ができる印刷室	12．お茶や食事のできるカフェ
13．その他（　　）	

問 13. 川之江地区の公共施設の多くは、老朽化し更新の時期を迎えています。少子高齢化社会で税収の減少が見込まれ、一度にすべての施設を更新するのは現実的ではありません。こうした中、今後の公共施設整備をどのように進めていくのがよいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

１．サービスをより充実させるため、公共施設をさらに増やすべきで、市民一人当たりの負担が増えても仕方ない。
２．サービス水準を維持して欲しいので、現状の施設数を維持すべきで、市民一人当たりの負担が若干増えてもよい。
３．現状の機能をできるだけ維持しつつ、施設を集約し、民間活力を活かした整備や管理の導入も視野に入れ、建設費や維持管理経費を削減すべき。
４．厳しい財政状況を踏まえ、現状のサービス水準が下がっても、低利用の公共施設の廃止を進めるのがよい。
５．その他（　　）

問 14. 新たな市民文化ホールの建設に伴って、川之江会館は平成 27 年度以降に解体が予定されています。川之江会館跡地はどのように活用すべきと思いますか。（特にあてはまるもの２つまで○）

１．老朽化した公共施設を集約し新たな公共施設を建設する
２．憩いの場やイベントが開催できる公園・広場とする
３．定住人口を増加させることを目的とした施設（マンション等）を建設する
４．四国中央市の物産を販売する物産館や観光施設を建設する
５．文化等を学習できる施設を建設する
６．映画館など娯楽施設を建設する
７．市街地に歩いてアクセスしやすいよう、駐車場を整備する
８．地震等の災害に備えた防災関連施設を整備する
９．健康増進のための施設を建設する
10．商業地として活用する
11．売却・貸付を行い、その収益を行政サービスの財源に充てる
12．その他 （　　）

オ．自由意見（まちづくりに対するご意見等ありましたらご記入下さい。）

ご協力いただきありがとうございました。